

關大

第562号

平成23年(2011年)3月15日発行
奇数月15日発行・昭和30年8月6日第三種郵便物認可

関西大学校友会

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 関西大学校友・父母会館
電話06(6368)1121(代) FAX06(6380)8476
URL <http://www.kandai-koyukai.com/>
Eメール koyukai@ml.kandai.jp

卒業特集

贈る言葉—寺内校友会長・楠見学長・上原理事長
新卒業生8人の学生生活4年間の思い出
定年退職9先生のお別れの言葉

やったぞ!サッカー部43大会ぶり日本一

2011スプリングフェスティバル

4月3日(日)に千里山キャンパスで開催

第27回支部対抗親睦ゴルフ大会

5月24日(火)に天野山CCで開催





「東京センター」

JR東京駅新幹線日本橋口から徒歩1分。東京駅直結の超高層ビル「サピアタワー」の9階にあり、首都圏における関西大学の顔として、多彩な活動を展開している。

関西大学東京センターは、平成15年7月に産官学関係機関との連絡、学生の就職活動の支援、校友との一層の連携など、首都圏における活動の拠点として、東京駅八重洲口の道路を挟んだ正面に位置するダイヤ八重洲口ビルの8階に開設された。

平成19年3月に、より一層の充実を目指してサピアタワーに移転。スペースも従来の約3倍、637m²に拡充され、200人収容の大会議室も設置された。

これにより、都民を対象とした「かんだい 明日香まほろば講座」など公開講座や産学連携セミナー、異業種交流会、学会、校友や父母の文化サロンなども開催できるようになり、年間の利用者は約8,000人。

地域貢献、情報の受発信を活発に行って関西大学の知名度向上に努めている。



関大 562号 目次

卒業特集

- 2 新卒業生に贈る言葉 寺内校友会長・楠見学長・上原理事長
卒業に当たって—学生生活4年間の思い出
大学を去るに当たって—定年退職教授のお別れの言葉

- 12 きらっ人校友録 ②⑨ 典子社長、のりこ先生 野村典子さん

大学・学生関係

- 14 南千里国際プラザの地鎮祭を挙行

教育施設と留学生寮の複合施設、2012年に留学生別科を開設
福島学舎記念碑を建立、福島学舎完成の日除幕式

2011年度一般入試終わる、志願者数微減の86,463人

やったぞ！サッカー部、 43大会ぶり2度目の大学日本一

43年ぶりの日本一が意味する物—サッカー部顧問 黒田 勇

関大一中3年生の大西春花が「歌会始」の儀に最年少入選

- 21 オース！ごきげんさん。＜37＞—松井 浩之（上）

本部活動

- 22 2011スプリングフェスティバル

4月3日（日）に千里山キャンパスで開催

250余人集い校友会新年互礼会開く

第27回支部対抗親睦ゴルフ大会、

5月24日（火）に天野山CCで開催

「関大から世界へ」校友会の海外ネットワークについて情報提供を

- 28 北から南から＜各地支部だより＞

校友トピックス 校友短信 新刊紹介 会と催し 訃報



サッカー部日本一祝勝会

草の甲

朝、マックは大賑わい。私は早い時は、朝7時過ぎに私のオフィス近くのマクドナルドに行くのだが、そのマクドナルドは、早朝にもかかわらず8割ぐらいい席がいっぱいだ。客のほとんどは、出社前のビジネスマン、ビジネスウーマンだが、マックに来てモーニングを食べているだけではない。彼女らが、早朝何をしているか観察してみると、年輩の人は、企画書らしいペーパーになにやら書き込んでいる。イヤホンをして語学のリスニングをしている若いビジネスマンもいる。テキストを開いて中国語の勉強をしている人もいる。また、簿記や通関士などの資格検定の勉強をしている人もいる。何をするでもなく、携帯電話をいじったりしている人も中にはいるが、勉強したり今日の仕事の準備をしている人がほとんどだ。特に、語学の勉強をしている人が多く見受けられる。2、3年前に、「勉強ブーム」があり、勝間和代などの自己啓発本が売れた時期もあった。それも下火になったと思っていたが、勉強を続けている人はいる。さて、日本は、格差社会が問題と指摘されているが、彼女らのように、出勤前にコッソリ勉強を続ける人と、そうでない人で、将来、差がつくのは当たり前のことである。努力する人とそうでない人で収入等の格差があるのは当然で、むしろ格差がないとおかしい。格差の問題は、公正公平な競争が行われる社会の実現と、格差の「相続」を無くすることである。日本には、資源の無い国なので、日本人が勤勉であるしか国や個人が富を得られる手段はない。それは、今も昔も同じことだ。天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず。早朝マックは、やる気、パワーをもらえる場所である。

5700余人の新学士が誕生、社会へ巣立つ

春3月、今年もまた卒業の季節を迎えた。大学・大学院を卒業し、大きな期待と一抹の不安を胸に、新たなステップを踏み出し実社会へと巣立つていく。それは、私たち校友が新しい仲間を迎える時でもある。若者たちの行く手には社会の厳しい現実があるが、社会のさまざまな分野で活躍している40万校友は、きつと温かく迎えてくれることだろう。

平成22年度学部卒業式は、3月19日、午前10時と午後2時から千里山キャンパス中央体育館で挙行され、5700余人の新学士が誕生する。

また、大学院学位（修士・専門職）記授与式は、22日午前10時から第2学舎4号館BIGホール100で挙行され、約

700人が卒業する。

本号では「卒業特集」として、寺内校友会長、楠見学長、上原理事長から「新卒業生に贈る言葉」をいただいた。また、課外活動等で活躍した8人の新卒業生に、学生時代の思い出と新たな人生を歩みだす決意を、3月末をもって教壇を去られる先生方の中から9人の先生に「お別れの言葉」をご執筆いただいた。

なお、併設校となつて初の卒業生を送り出した関西大学北陽高等学校は2月19日に、関西大学第一高等学校は2月23日に卒業式を挙行し、それぞれ475人、457人が学窓を後にした。



新卒業生に贈る言葉

社会の中で大きく育て！

関西大学卒業生

校友会長 寺内 俊太郎



ですが、空と地中からいち早く動き始めるのが春であり、まさに皆さんが関大時代を含めたこれまでの学校生活に終止符を打ち、今まで経験のない社会に飛び立ってくださることを願っています。

皆さんは様々な道を歩んで行かれることと思いますが、ご自身一人では今日を迎えたのではなく、一番にはご家族の援助と協力があればこそ、そして関大時代の授業・ゼミ活動における恩師、クラブ・サークル・ボランティア活動などを通じた先

輩・同期・後輩との出会いが、あなたの人間性や感性を一つの形に仕立てて貰えたことに、この卒業式を節目に心からの感謝の気持ちを新たに持つて戴きたいと思っています。

この様々な団体生活の中で培った力、これを「人間力」と呼ぶとすれば、皆さんは正課・課外活動の場で本当に得がたい経験を関大で得たものと思います。これは、実社会で働く際に、団体の中での自分の役割、人との接遇、目標に向かつての完成の道程は、自身は気付かずとも関大時代の人間力がその基礎となっていることに、やがて思い起こされることでしょう。

しかし、現実には経済不況の閉塞感が一層強まり、出口の見えないことにわが国全体が焦燥感を強めている

ます。このような中で、「人を動かすことのできる人は、他人の気持ちになれる人である。そのかわり他人の気持ちになれる人というのは自分が悩む。自分が悩んだことのない人は、まず人を動かすことはできない」の言葉がありますが、関大での人間力にさらに磨きをかけるには、これからの人生が自ら求めて何事にも吸収する意欲と熱意が欠かせないと思います。私はこのことが母校の学是「学の実化」だと確信しています。

我々校友一同は、諸君に「社会の中で大きく育て！」の念で応援したいと思っています。

さて、皆さんを校友として私たちがの仲間としてお迎えできることに、諸手を上げて歓迎いたします。国内外で活躍する40万人の先輩校友が

おられ、全国各地域の卒業生で運営する125の地域支部、140の職域会や同期会等があります。そして大学には、母校卒業生の絆を深める「元氣な校友会」があり、皆さんを見守っています。卒業後、これら地域支部等に積極的に所属され、母校との絆を結んでいただき、充実した社会生活の一助としていただければと願っています。

皆さんの卒業後の活躍は、母校関西大学の評価、好感度を高め、一層の充実発展につながることになります。

おわりに、卒業生の皆さんの大いなる飛躍を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

数々の思い出を胸に、春光を浴びて学び舎を巣立つ関西大学卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

春は別れと新しい出会いの季節

次世代を担う リーダーたちへ！

学 長 楠見 晴重



青春を謳歌した関西大学を卒業される皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの在学中の努力に対して敬意を表しますとともに、皆さんが充実した大学生活を送る

ことができたことを、皆さんのご両親はじめ在学中にお世話になった方々に感謝していただきたいと思っています。

皆さんの在学中には、世界的な金融崩壊など、グローバル化の進展に伴って世界が激動しています。日本においても国民の生活に直接影響を与えています。身近には未曾有の就職難がありました。皆さんの中には希望通りの道を歩む人、そうではない人がおられると思います。厳しい社会環境は就

職難だけではありません。これらの日本は世界が経験したことのない少子高齢化が進みます。これによって日本はこれまでの常識が通用しない時代に入り、別の価値観に立脚した国づくりをしなくてはなりません。

また地球規模での人口爆発と気候変動が住民の生活、経済活動に大きな影響を及ぼしつつあります。世界では、日本とは逆に人口増加が更に進み、それによってエネルギー資源、食料資源、水資源の人類の生存に欠かせないものの争奪が始まっています。将来、これらを巡る戦争が起こる危険も懸念されています。さらに急激な気候変動によって、あらゆる食料資

源の生産地図が変わる可能性も指摘されるなど、地球規模においても、多種多様な問題が山積しています。

私は、山積する諸問題を抱えた社会で生きていく皆さんに、「同情」しているではありません。皆さんには長い人生が待っています。その人生のさまざまなところで、人類が直面する諸問題に皆さんも直接的、あるいは間接的に関わっていきます。その諸問題に関わり、そしてそれを解決していくことは、素晴らしい生きがいのあることではないでしょうか。厳しい社会環境は皆さんを鍛え、育ててくれます。関西大学で学んだ教養、知識、方法を最大限に活

かして、地域社会と日本、世界、さらには人類社会に貢献してください。そして、社会に出て常新しい知識を吸収し、あらゆることを経験し、次世代を担うリーダーとなることを期待します。リーダーは、人に対して、社会に対して、そして自然に対して常にやさしい心を持たなくてはなりません。これは本学の建学の精神「正義を権力から護れ」にも通じます。関大精神を忘れずに、将来のリーダーとしての自覚を持って社会に漕ぎ出していただく。これらの活躍をお祈りして、私の饒の言葉といたします。

「激動する社会に挑む人材に」

理事長 上原 洋允



豊かなキャンパスを後にされる皆さんに、心からお祝い申し上げます。

今日、晴れて卒業される皆さんがあるのは、これまでご指導いただいた方々や、幼少の頃から我が身以上に大切に育んでくれたご両親、ご家族のおかげです。社会人となった後も、このことは生涯忘れないでください。

今年の就職状況は、これまで以上に厳しいものでしたが、皆さん

はそのような状況の中で果敢にチャレンジし、勝ち抜かれたことと思います。また、大学院に進学し、さらに専門的な学業を修めるための第一歩を踏み出された方もいらっしゃるでしょう。

それぞれ希望と期待を胸に巣立っていかれますが、社会、特に企業はめまぐるしく進歩し、最新の知識や技術も、一刻一刻と進化していきます。従って、「学習を継続できる力」を備えた人材が求められているのです。大学で学んだ知識を基礎として、社会に出てからも常に研鑽を重ね、学び続ける姿勢を忘れてはなりません。生涯学習、自己成長への努力を続けてほしいと念じます。

国内外の情勢に目を向けますと、回復の兆しが見え難い不況と雇用不安、混迷する政治情勢、地球規模での環境破壊の進行など、極めて深刻な状況にあるといえます。そうした激変の中で、既存の制度や枠組みは、もはや通用しなくなってきました。自らの頭でよく考え、自律的かつ積極的に行動することが肝要です。常に失敗を恐れず変革に挑み、新たな世界を切り拓くアグレッシブな生き方をして下さい。

国際的な競争が激化するなか、皆さんの活躍するステージは、海外にも広がっていくでありましよう。世界中の各界各層で活躍する皆さんを、母校・関西大学や40万

人を超える校友が見守り、応援しています。本学の卒業生が、国際舞台においてより存在感を増し、母校の名を高めてくれるなら、これに勝る喜びはありません。皆さんが今後さらに成長され、国内だけではなく国際社会においても大いに活躍されますことを心から期待しています。

入学当初の目的を果たし、立派に学業を修められただけではなく、教職員や友との出会い、課外活動などで得られた数々の経験といった、たくさんの思い出とともに緑

卒業に当たって

学生生活4年間の思い出

目標の2連覇を達成
感動は仲間と努力で

井浦 美鈴（文4）

体育会射撃部主将。射撃部女子は、今年も春・秋関西学生、西日本学生、全日本学生選抜、全日本学生の公式戦5大会の全てに優勝し、昨年に続いて5冠を達成した。



私の大学生活は、部活動と競技に注ぐ4年間でありました。体育会射撃部は、私が入部した当時に新しい射撃場が完成したことで、チームの士気も高まり、まさにこれから成長していくところにいる活気ある雰囲気でした。部員同士が切磋琢磨し、OB・OGの方々に指導し

ていただく環境の中で、練習に生を注ぐことができました。先輩方には、普段の練習時から熱い指導をしていただき、競技レベルを向上することができました。

また、部活動以外の場でも交友があり、競技から生活面に至るまで、様々なサポートをしていただき、本当に感謝しています。私が3回生で、創部初となる全国大会総合団体優勝を成し遂げた時には、先輩方の引退を勝利で飾ることができ、本当に嬉しかったです。

4回生で私は主将になり、大会2連覇という重圧と戦いながらの指導となりましたが、同期と先輩、諸先輩方に支えていただき、無事2連覇の目標を達成することができました。

私の4年間は、仲間を支え支えられ、協力しながら目標を達成する喜びを実感する連続でした。この感動は仲間と努力なしでは経験できません。体育会射撃部で培った経験を糧に、更に成長していく所存です。

仲間と4連覇かけて戦う

部活で人間的な成長実感

上田 朋美（商4）

文化会速記部前主将。速記部は

現在、全日本大学速記競技大会で45連覇中。

速記部と聞いて、何をするクラブなのか想像できる人は少ないかもしれません。しかし、関西大学文化会速記部はユニークな仲間が集まった、とてもおもしろい部です。そもそも大抵の部員は、速記とは何なのか分からないところからスタートします。それなのに、なぜ部員は入部を決めるのか。それは先輩方が魅力的であり、「速記」という未知の技術に魅了されてしまったからでした。私は、始めて「速記」を目の当たりにした時、紙とペンさえあればまるで録音したかのように会話を記録できることに衝撃を受け、あっさりと入部を決意してしまいました。

速記部に入部してからは、大学の部活というものの厳しさを知りました。関西大学速記部が参加する全日本大学速記競技大会は大変伝統があり、私たち関



西大学速記部は全国大会43連覇をかけて戦いました。練習時間も多く、大会前には授業以外の時間はすべて練習に参加、という厳しいものでした。

3年次で任されることになった部の運営は、限られた人数でやりくりしながら進めねばならず、思うように速記部をまとめられずに苦悩しました。それでも、私たち速記部卒業生はこの部活動をやりきりました。そして、入部した時よりもはるかに成長することができました。それは速記という技術のみにとどまらず、「地道に努力すること」「仲間と協力すること」「時には熱くなること」など、人間的に成長できたと思えることもたくさんあります。

そして、この速記部で私は4年間を共に歩んだ大切な仲間を得ることができました。これから、つらく苦しいこともたくさんあると思いますが、大学時代に学んだことを生かし、頑張っていきたいと思っています。

大切な人たちと

めぐり逢えた関大生活

上野 俊行（商4）

2009年度学術研究会本部本部長。2010年度関西大学ピア・コミュニティ運営本部副本部長。

私の学生生活は、多くのかけがえのない友人に恵まれたものでした。その中でも学術研究会



本部とピア・コミュニティ運営本部では、それぞれ本部長、副本部長という役割を務めさせていただきました。学術研究会は体育会や文化会、応援団と同様に伝統のある組織。反対にピア・コミュニティは2009年に立ち上がったばかりの新しい組織でした。

学術研究会は、専門的な学術の研究を行っている22の個性的な部活から成り立っています。

しかし、学術活動はスポーツや芸術の様に成果がわかりやすいものではないので、伝統的な部活であつても知名度は高くないと感じました。そのため、私は各部の日頃の研究成果を多くの人に見て楽しんでもらうという目的で、全団体が一堂に会する初めての催しを開きました。「学術博覧会」と名付け、凜風館一階を借りて各部の研究の紹介・展示を一週間にわたり行いました。伝統的な組織の中に新しい可能性を芽吹かせる事ができたと思います。

ピア・コミュニティでは、「学生による学生支援」という理念

のもとに活動しました。その理念とはつまり、関大生同士で互いに助け合おう、という気持ちです。そのピア・サポートの概念を関大に普及させる活動を中心に多岐にわたる活動を行いました。できたばかりの団体だったので、仲間と手探りで運営方法を探しました。今後も関西大学の学生組織として長く続いていくための基盤を築けたと思っています。

最後になりましたが、私にとってこの4年間で何物にも代えがたい大切な思い出になったのは、私の周りにいてくださった方々のおかげです。家族、友人、教職員の方々、そして関西大学、私に関わり支えてくれたすべての皆さまに厚くお礼申し上げます。

当たり前のことなど

何一つ無い

篠崎 祐輔（経4）
準登録団体「関西大学学生チーム漢舞」前代表。

よさこいという踊りをこ存じでしょうか。関大には「関西大学学生チーム漢舞」というよさこいチームがあります。私は踊りの経験など無く、小中高と部活動一本でしたが、入学当初に何気なく踏み入れたこのよさこいという世界で、数え切れないほど多くの「感謝」の場面に出会い、大切なことを学びました。よさこいを始めた私は、毎日



のように汗だくになりながら踊り狂い、お客さんに見られるパフォーマーとしての気持ちよさに取りつかれてしまいました。北は北海道、南は高知といった全国各地のよさこい祭りに参加し、精力的に各地を盛り上げました。祭りという非日常空間で見ず知らずの人と手を取り合い、時間も忘れてただひたすら笑顔になれて感動できる瞬間を過ごせた私は、まさに青春を謳歌したといえるでしょう。

そして3年次生で漢舞の代表になった時、私は部員皆にとつての漢舞での生活を人間形成の場にしようと考えました。私たちが毎日のように学校で練習できていること、全国の祭りに参加して見に来てくださる人がいること、私たちに演舞指導や演舞依頼をしてくださる方がいること、無償で協力してくださる企業があることなど、代表にな

って今の自分がいかに恵まれた環境にいるかを再認識するとともに、これらのことに対し「感謝」の念をチーム全員で持つこと、それが私たちを成長させてくれると考えたのです。

当たり前のことなど無いことを学んだ大学生活、これからはこの経験を社会で生かしていかなければなりません。学生時代に負けない仲間や想い出をこれからも作り続け、10年後100年後の後輩に恥じないよう、社会人としてこれからの人生を一步步ずつ力強く歩んでいきます。

下から上を目指した4年少し達成し、後は後輩に

田中 成美（総情4）

体育会フェンシング部女子前主将。第60回関西学生選手権大会・女子フルレ団体戦で創部初の準優勝を飾った。



大学4年間は長いようで短く感じました。私の学生生活の思い出は部活動です。本当に大学生活はフェンシング一色だったように思います。楽しかった4年間ですが、1回生のころは毎日泣くばかりしていました。そのとき私は、高校と大学との部活の違いでもある「自分で考えてやらなくてはいけない」ということを学びました。

上回生になってからは、女子主将も任せられ、まとめることが苦手だった私は、初めは苦労しましたが、この役職を通して多くのことを学ばせていただきました。先輩や同期、多くの方に助けられながらも、自分なりに務めることができたと思います。

入部当初、フェンシング部女子は関西リーグで2部でした。初めてのリーグ戦で1位になり、入替え戦で勝つことができ、1部に昇格しました。でも、まだ1部では通用せず、正直1部の下を這っていた状態でした。しかし、昨年の私にとって最後の関西リーグ戦で、一つの種目で団体2位になることができました。これは、とても嬉しいことでした。

私の入部してからの目標は、「下から上を目指す」ことでもあったので、達成はまだできていませんが、少しその目標に近づいたように感じた瞬間でした。

私は、多くの経験や人との出

会いを通して、このフェンシング部の一員であったこと、心から良かったと、今思います。この4年間で学んだことや経験してきたことを大切に、社会人になっても頑張りたいと思います。最後になりましたが、4年間支えてくださった方々、監督、コーチ、先輩方、後輩に感謝したいと思います。今後の後輩たちの活躍を期待しています。

サッカーで人間的成長 夢の実現に向け再挑戦

藤澤 典隆（経4）

体育会サッカー部主将、MF。サッカー部は第59回全日本大学サッカー選手権大会で、43大会ぶり2度目の優勝を飾った。

私の目標は、サッカーの日本代表、そして世界的なプレイヤーになることです。高校時代に自分を客観的に判断し、プロになっても通用する選手になるために、大学進学を決意しました。



私のすべてがサッカーで、すべてをそのために過ごし、成長するために日夜取り組みんできました。

関大サッカー部は、「全員サッカーで日本一」をコンセプトに皆頑張っています。日本一というのは、すべてにおいてであり、サッカーを始め、応援、取り組み姿勢、社会貢献においてもです。これらのすべてはサッカー云々より、「人として」の部分が大きく、社会に出るための人間形成、下準備がこれらには含まれています。更にはスクール活動。楽しんでいただく側ですが、私たちが得る事が多かったりします。

私たちが43年ぶりに大学日本一になれたのも、今の基盤を築いていただいた歴代の先輩の陰でもあり、そして、これらを真剣に目指し、取り組んできたことが一番の理由だと思っています。人間力＝選手の力量。サッカー選手である前に、一人間として在る必要があり、人として成長することが選手としての成長に繋がると 생각합니다。

私個人としては、ずっと痛めながらプレーしていた箇所を手術し、リハビリをして完治した後、もう一度目指します。

「夢は逃げない、逃げるのはいつも自分だ」。この言葉を忘れずに必ず成し遂げたいと思います。これからも応援のほど、よろしくお願いたします。

「繋がり」に支えられて

藤原 はるか(政策4)
ボランティアセンター学生スタッフ前代表。



「視野を広げたい」。そんな漠然とした考えを持って辿り着いたのが、ボランティアセンター学生スタッフでした。もともと社会貢献への関心が高かったことに加え、ボランティアを通して社会の現状を知れたり、「コミュニケーション能力を身につけることができたりと、勉強や社会人となる基盤作りに役立つだろうと考え加入しました。

「学生の視点から学生にボランティア参加のきっかけをつくる」という団体の理念のもと、環境・防災・福祉・国際協力など、多分野にわたるボランティア活動や、それに関わるキャンペーンを行いました。授業では社会の様々な問題について考え、ボランティアでは自分でできることを実践するという流れ

で、この4年間は全てが学びに繋がったように思います。

中でも、2回生の時にスタッフの代表となり、挫折と反省の日々を経験したことは、自分を大きく成長させてくれました。団体が発展していくためにはどうすれば良いのか。一生懸命になればなるほど、想いの伝わり合いもどかしき、自分の至らなさが辛く、やめたいと思うたびに責任感が募り、悩み続けました。

しかし、そんな自分を励まし、時には叱り、応援してくれる人達に支えられ、なんとか任期を全うすることができました。たくさん迷惑をかけたけれど、「代表をしてくれて良かった」「お疲れ様」と言われたときはとても嬉しく、人と人の繋がりの大切さに気付きました。

関西大学にいられたこと、そしてこれまで支えて下さった全ての方々に心から感謝しています。これからは社会人として自分のできることに誠心誠意取り組み、お世話になった方々や社会に恩返しをしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

みんな、ありがとう！

世界へ向けてこれからも

三村 有希(社4)
体育会陸上競技部跳躍選手。第79回日本学生陸上競技対校選手権大会の女子走高跳で1m82を

跳び優勝、大会3連覇を達成した。また第50回実業団・学生対抗陸上競技大会でも優勝。



私の大学生活を振り返ると陸上競技のことばかりです。入学当初は、新しい環境に慣れることに必死でした。苦しかったことも辛かったことも、周りの人々に恵まれ、今では本当にどれも良い思い出ばかりです。その中でも一番印象に残っていることは、3回生の時に体験した海外遠征でした。

初めての海外遠征は中国で、とても緊張し、自分が思うように動けずイライラしましたが、その試合で我慢することを覚えしました。2度目の海外遠征ではイランへ行き、英語もなかなか分かってもらえず、苦労しました。自分が伝えたいことを伝えることの難しさや、違う環境での生活は新しいことの発見ばかり

りでした。日本で生活しているだけでは経験できないことが沢山あり、自分の小ささを痛感することができました。また、普段近くにいにくれているコーチや仲間との存在の大きさを再確認することができた試合でもありました。

これからも競技を続けていく中で、不安になったり、プレッシャーに押しつぶされそうになったり、沢山の壁にぶちあたるかもしれない。その時も沢山の方々に支えられているということを思い出し、苦しいときこそ成長する良い機会だと考え、競技を楽しみながら、日々、精進してまいります。

最後になりましたが、お忙しい中、指導してくださったコーチ、OBの方々、支援してくださった大学や体育会関係者の方々、共に励まし合いながら練習してきた陸上競技部の仲間、違う部活でしたが仲良くしてくれた友人、一番近くで応援してくれた家族、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

これからも世界で戦える選手を目指し、頑張っていきますので、ご声援のほど、よろしくお願いたします。

大学を去るに当たって

定年退職教授のお別れの言葉

先人の英知と気骨を

心の糧に

文学部教授 伊藤 誠宏



関西大学に助手として採用され、今春退職を迎えるまでの歳月は、瞬く間に過ぎてしまったように感ずる。

退職を迎えて、心に浮かぶのは、自由・闊達な気風の伝統ある大学に身を置き、母校と共に人生の大半を歩むことができた喜びで、感傷的な感情ではない。

いろんな分野で活躍してこられた、大学と縁(ゆかり)のある方々との出会いや、先人の気概に触れた折の感動が、私の場合には、母校関西大学での思い出として強く心に刻まれている。

在職中、関西大学に集う方々や、関西大学で育まれた方々にお世話になり、そつした方々の心情や気骨に接し数多くの感動をいただいた。とくに、李達雨先生(昭和16年法学部卒、平成

13年死去)のお言葉、「国籍は変えられても、母校を変えることはできない」という言葉に接した時の感動は、いまなお鮮明に記憶に残っている。

先生は、関西大学卒業後、第二次世界大戦、朝鮮戦争などの戦禍を乗り越えられ、韓国のいろんな分野で活躍されたと伝え聞く。まさに先生の人生を物語る「国籍は変えられても、母校は変えることはできない」という言葉は、母校への思いと共に、私にとつては終生忘れえぬ言葉である。

こつした言葉に接するにつけ、私は大学が持つ力の大きさを強く感ずる。私にとつて、李達雨先生の言葉から受ける感動は、李先生と「母校との心の絆」に触れた感動であり、母校の人を育む伝統の力を感知することによって生ずる感動である。

在職中に受けた幾多の感動を母校の思い出として、大切に記憶に留めておきたいと思う。そして、母校で感受した先人の英知や気骨を、今後の人生の心の糧として生きてゆこうと思つて

いる。最後にになりましたが、大学を去るにあたり、お世話になった皆様に心より感謝を申し上げる

と共に、関西大学と関西大学校友会のより一層の充実と発展を祈願し、筆を置く。

文化創造の

関西大学と共に

文学部教授 伴 義孝



学生諸君。大学は何をするところなのか。ボクはいま一つの「アイデア」をもっている。諸君ももっているはずだ。アイデアを交換すればどうなるのか。二

つは未知の出会い。出会いは互いに培養し変化自在に膨らむ。関西大学には大勢の学生と教職員がいる。のみならず大勢の先輩諸氏が巣立っていった。だからアイデアは身近にゴロゴロしているはずだ。大学は「アイデア」を交換する場所なのだ。

毎年はじめ顔面を合す学生にこのような挨拶代わりを話してきてアツという間に40年が過ぎ去った。かくいうボクもその間にもちろん学生諸君からも多くのアイデアを頂戴できた。さて、ボクは保健体育教員として赴任してきたのだから「体育」と、「スポーツ」に関してアイデアを交換しつづけた。

1886年に発祥した関西大学には交換すべき材料が五万とある。なかには日本の近現代史を切り拓いてきた文化資産がキラリと光っている。究極の一つが「スポーツ文化」である。スポーツは典型的な外来文化。その

外来文化を2011年の現代日本に橋渡しする土壌を創造したのが関西大学と比肩する揺籃期にあった往時の大学である。とりわけ学生諸君が内発する青年運動として創始したのがいわゆる「学生スポーツ」にほかならない。そして関西大学が先進的なスポーツ文化発祥の大学であったことは歴史に詳しい。

こつした土壌があればこそ、いま関西大学に世界に誇れる二つの「スポーツ文化」が確固として根付くつづける。「総合開戦」と「大島鎌吉現代スポーツアカイブス」である。詳細を語る紙幅はない。だが、近々その全容を関西大学が誇ることになることだけを予言しておこう。70歳を過ぎれば自慢話も許されることだろう。この二つのスポーツ文化の創造にボクは深く関わってきた。文化創造の先駆者関西大学が許してくれたのだ。2010年にはスポーツ文化を切り拓く人間健康文化学部も開設された。「期待」は大きい。

暖かい空気のなかで

文学部教授 横田 茂
文学部に助手として着任して



から、いつの間にか42年が過ぎ、退職のときを迎えました。まさに「光陰矢の如し」です。

学部の最も若い教員としてゼミを開講したのは、オイル・ショックの翌年ですから36年前のことです。それから700人を超えるゼミ生の卒業論文を読みました。開講当初はまだゼミナールハウスがなく、ゼミ合宿をおこなう所には、吹田市内や箕面、丹波方面のお寺を借りたり、夏休みに遠く日本海に臨む旅館まで出かけたりのものです。遅くまで勉強したあと、大広間に布団を並べて一緒に寝たかつてのゼミ生たちも、もうすぐ還暦を迎えようとしています。

学生父母のご厚意をいただいて明日香に待望のゼミナールハウスが誕生したのは1970年代の中頃だったと思いますが、それ以来、高槻、六甲、彦根などに充実した施設がつくられ、私のゼミも毎年、お世話になりました。彼岸花の咲く明日香、雪の彦根、六甲の高山植物園など、美しい環境を楽しみながら学生たちと過ごした日々が思い浮かびます。

研究の面で大変ありがたかったのは、若いときに手探りで始めた2つのライフワーク（予算と都市の研究）がゆつくりと成熟する時間を与えていただいたことです。とりわけ、在外研究員として2度、ニューヨークに留学して、多くの人びとと交わり、現代ビジネスが営まれている最先端の都市の内面に触れる機会を得たことは、研究の進展を大きく助けてくれました。

いま振り返ると、キャンパスの景観はすっかり変わりましたが、私が関西大学で過ごした日々は、いつも闊達で、温かい空気に包まれていたように思われます。

商学部の先輩や同僚の皆様、経済・政治研究所で共同研究をした先生方、学部や大学院の行政面で支えてくださった事務職員の皆様、各地の教育懇談会でお世話になった父母や校友の皆様、大変ありがとございます。

わが師・わが学園

社会学部教授 浅田 正雄



関大に入学してから半世紀に

なる。光陰矢の如しである。語れば想い出は尽きることがない。

受験日、阪急天六駅から乗った電車は、前・後部が少し弓形（なり）の木細工の質感を持つ小さな3両編成であった。初めて行く大学に期待と不安が交錯する複雑な気持ちで車窓外をぼんやり眺めていた。突然「シュー」と音がして急停車した。かと思うと逆方向に進み、「大学前」（旧称）と書かれた白い標識が窓越しに大きく見える位置で停車した。

試験開始まで少時あったので、外苑を散策した。アカシア、山ツツジ、松などが林立する茂みの中を、残り落ち葉のカサコソという音を耳にして踏み入った。小さな石の太鼓橋があり、静かな浅い澄んだ小池と、その端には高さ3メートルほどの蔦からみ苔むす小滝があった。池端にたたずんで、何気なく蹴飛ばした小石が、あたりの静けさの中に余韻を残して水面から消えた。自信と勇気が湧いてきた。

3年次になって演習の履修届を提出すべき時がきた。どのような専門の教授につくべきか迷った。学生間で人格的に大変立派であるとの噂の森川教授を、思い悩んだあげく研究室に訪ねた。「先生、ご相談したいことがあるのですが」と震え声で言う。机のむこうから怪訝そうな面持ちで「エッ」と発せられ、「まあそこにはかけない」と言われ

れた。

小柄で、スマートな、センスの良い身だしなみの、英国風の紳士を思わせる物静かなどこかに偉大さの感じられるお姿に接した。初対面の一学生のしどろもどろのつまらぬ相談にも真剣に話を聞いてくださった。慧眼の神秘的なまなざしにゼミ選択はこの先生しかないと感じた。

美しき学園と、今は亡き碩学森川太郎先生との感動的な出会いが、経済学の門をたたき、私の運命を決することとなった。

関西大学という良い環境に育まれ、過ごせたことを誠に幸せに思うと共に、関西大学のさらなる発展を心から願っている。

素晴らしい出会いを提供してくれた大学に感謝

社会学部教授 高木 修



卒論発表会后、4回生に囲まれて

私は、昭和43（1968）年4月1日付で関西大学社会学部助手に着任した。以来、特別

契約教授の2年間を加えると、43年間関西大学に奉職したことになる。着任後間もなく、社会学部では社会学論集問題で、その後も学費値上げ等で学園紛争が起き、教育者としての私の人生は未経験で異様な事態への対応で始まった。

私の専門領域は、対人社会心理学で、主要な研究テーマは、対人関係と対人行動である。人は他者とのどのような行動を交わし合って、どのような人間関係を構築するのか、その関係がどのような行動を引き起こさせるのか、このダイナミックな相互作用過程を研究してきた。それらの研究から、誠実に努力を重ねていくと揺るぎない評価が得られ、素晴らしい人との出会いがあり、その人との関係を大切に育む努力を続けられ、親密な関係に発展し、困難な人生問題が起こっても、それらに支えられて乗り越えられるということが明らかとなっている。

関西大学での43年間を振り返りえると、素晴らしい出会いと人間関係の発展が様々な場面であった。「これこそが教育なんだ」とそのあり方を教えてくれる教員が周りにいた。この学びが、最終年度でも、自己を点検し、少しでもより良いものへと改善しようとする私の教育方針となった。

学内研究では、経済・政治研

究所での他学部の先生との共同研究がある。研究の視点、アプローチの仕方、研究スタンスの違いから、研究の、また人間関係の幅が確実に広がった。何よりも素晴らしいのは、学部学生、院生との出会いである。ゼミで研究指導した15名の博士、45名の修士、600名近くの学生は、現在色々な領域で活躍している。ゼミ仲間との出会いもあった。それらの人々に、その場を提供してくれた関西大学に、心から感謝したい。

外国語学部誕生への積極的関わりは誇り

外国語学部教授 G.S. ジョーンソン



1976年に私が関西大学で教えるはじめたとき、千里山キャンパスにも天六キャンパスにも暖房やエアコンは設置されていませんでした。暑い日には窓が開けられ、寒い日は石油ストーブや大きなガスヒーターが使用されるだけでした。冬休みや夏休みに入るタイミングは完璧でした。というのも、7月や8月は明晰な思考には暑すぎますし、

2月や3月の初旬はかじかんだ指を動かすのが困難だからです。

実用的な英語の授業をするにはクラスサイズが大き過ぎましたし、クラブのために学生が費やす時間は、アメリカの大学で学生がクラブに費やす時間をはるかに超過していました。ですから、私には少しばかり調整が必要でした。日本の大学生が静かなのにも困りました。学生の表情を見てみると、意見を述べたり質問をしたりしたそうにしているのが分かりましたが、少数の勇気ある学生が発言しやすくするための工夫を開発するのに少し時間がかかりました。

大学院生からはたくさん質問がありましたから授業は楽しかったです。最も素敵な思い出の一つは、英文科にいたときに少数の卒業演習のクラスで、英語で卒業論文を書く学生の助けをしたことです。大学院の授業と同じように卒業演習のクラスは少人数でしたので、学生とコミュニケーションをとるのが容易でした。

航空券が安くなるにつれて、ますます多くの学生が留学や観光で海外に行くことを考えはじめました。世界を経験したいと切望する学生から新しいタイプの英語の授業の要望が生まれました。織田稔教授の陣頭指揮のもと、英語の授業を劇的に改革するための計画が英文科の中で検討されました。クラスサイズ

を小さくすることが不可欠でした。そして、そのための費用効果を高めるために特任講師制度が創設されました。特任講師とは、専任ではないけれども通常の非常勤講師以上の待遇と権限を持つ講師です。新しい展開がある度に、新しい問題が生まれました。十分な数の教室は確保できるのか？可動式の机を設置することができるのか？特任講師への応募が少ない中で、彼らが現在どのような授業をしているか確認することはできるのか？

英語以外の外国語の教員は、羨望と好奇心の入り混じった気持ちでこれらの展開を見守っていました。結局、多くの会議を経たあとで新しい学部が生まれることになりました。外国語学部です。常に前向きなこの新しい学部の誕生に積極的にかかわってきたことを私は誇りに思っています。

1990年、国際交流センター（現在の国際部）所長代理の役職を引き受けて欲しいという申し出が、当時の所長代理安川昱教授からありました。海外の大学と姉妹校提携を締結したり、国際交流を進めるさまざまな方策を考える良い機会であるとともに、私にとつては新しい挑戦でもありました。私が所長代理に就任すると同時に、河田梯一教授が所長に就任されました。南オーストラリアにあるア

デレイド大学が、4週間の語学研修を受ける学生を送ってくるよう勧めてくれました。しかもそれは大学が慎重に選んだホストファミリーとともにオーストラリア生活も体験できるというものでした。アデレイド大学のスタッフは素晴らしく、アデレイド市は安全で魅力的な都市でした。私たちはこの申し出を受けることにしました。しかし、それは関西大学にとつて新しい経験であつたため、国際交流センター事務長の葛馬寿秀氏とともに、教員の引率者として私は学生をオーストラリアまで連れていくことになりました。学生の英語が上達し、彼らがホストファミリーとコミュニケーションをとるのを楽しみに加え、それはオーストラリアの大学の信頼性に対する確信をゆつくりと深めていく良い機会でした。この経験をもとに、学部生・大学院生の交換留学プログラムをアデレイド大学との間に創設するよう当時の石川啓学長に申し出ることにしました。これらのプログラムは成功し、その後、アデレイド大学とのプログラムは他の語学研修や交換留学プログラムの成否を測る基準となりました。

留学によって学生は未知の領域に遭遇せざるを得ません。異国の文化の何が自分の人生を深め、何を避けなければいけないのかを学習することによって学生は成長します。留学において最も重要なことは、この直接的な意思決定です。このことを念頭に、私には保護者の方々に一つお願いがあります。お子さまが留学されるときには、携帯電話を持っていかせないでいただきたいのです。たとえそれが間違つた決断であつても、お子さまたちには自分で決断する機会を与えてあげていただきたいのです。本当の緊急事態では電話をかけてくるでしょうし、インターネットを通じて連絡してくるでしょう。しかし、日々の意志決定は自分ですという挑戦が彼らには必要なのです。万事首尾よくいつているか確かめた気持ちを抑えて下さい。異国の地で自由にさせてくれたことで、彼らは皆さまをより愛するようになるでしょう。

私が初めて関西大学のキャンパスを訪れたのは1976年の3月でした。多くの木がキャンパスに植えられているのを見てとても嬉しく思いました。校舎も今ほどたくさんありませんでした。私はインディアナ大学で過ごした自分の学生時代を思い出しました。35年経つた今もキャンパスには多くの木が植えられています。校舎の数は増え、そのいくつかは隣接しています。しかし、ほとんどの校舎には障がい者のための設備が整えられ、1976年には想像もできなかった現代機器が整備されています。関大は素晴らしい変化を遂げました。私の変化も（たぶん）同じです。

退任にあたって

総合情報学部教授

山名 年浩



思い出すのは3回の「学部講演会」に経営者やマスコミ関係者を呼んでシンポジウムを行ったこと、「関大おおさか文化セミナー」で講師を4回務めたこと、「高大連携」でいくつかの高校を訪れたこと、大学院の社会人受験生を獲得するために高槻市や大阪市内の企業を訪ね歩いたことなどがあります。

研究の分野では、総合情報部のキャンパスに3日間泊まり込んで、経済の時系列データをsaveファイルに変換し、音の発生に成功した時の興奮がありました。この研究は国内外の学会で4回発表させていただきました。

在外研究したのは61歳の時でしたが、中国は大連交通大学で6か月の間、中国語を学ぶ留学生の席に座つて特訓を受けました。日本と中国が自立した交流をする大切さを実感いたしました。

た。

教育では、教室へ入ると一瞬で元気になる性格から、楽しく授業を進めることができました。ゼミナールでは正規の授業以外に土曜日午後の勉強会が1年間続く年もありました。また、卒論が全国紙で紹介される年もありました。少数ですが、院生から研究職や専門職で活躍するものも生まれました。

総合情報学部は高槻市の山手にあります。学生時代をボリューションのない環境で過ごせることもあり、学生諸君はまじめな雰囲気でした。建物の傷みも少なかったです。そして、食堂や帰りのバスの中では賑やかなおしゃべりをしていました。こうした思い出は関西大学ならではのことで。

学部開設以来17年間の教員生活を支えていただいた、学部の教員の皆さんと職員の方々に、そして、学生諸君に心から感謝いたします。

定年退職に際して

環境都市工学部教授

八尾 眞太郎



50年に近い私の研究・教育歴の中で、最後の10年余りは地球環境問題の研究と教育に多くの時間を割きました。

持続可能な社会を構築するためには、近代合理主義文明を支えてきた思想性・精神性を根本的に見直さなければならぬと私は考えております。文明は必ず「もの」と「心」の両面から成り立っており、CO₂を削減するだけ、つまり「もの」を論ずるだけでは決してこの変革は成功いたしません。

近・現代においては、哲学で言う「理性」に基づく文化即ち自然科学と社会科学の発達が巨大な潮流となつて人類社会を覆い尽くしています。その間、「理性」の対極である「非理性」の存在が等閑にされてきました。「非理性」とは、感性・情緒性のように表現される人間の精神的本能であつて良性と悪性からなり、倫理・道徳・宗教などは良性の本能を範疇とした「非理性」であります。

人間の精神が「理性」と「非理性」に分極したのは、ギリシャ時代であつて、この時代から哲学という学問が始まっています。中世においては理性と信仰（非理性）の関係がスコラ哲学の中心課題でありました。イブニング・シュド（1126～1198）によつて「理性の心理」と「信仰の心理」即ち「二重心理説」が唱えられました。即ち、人間社会

においては両者が不可欠であるということですが。

しかし、近代に至つて科学の進歩（理性）が余りにも絶大であつたために、「非理性」が影に隠れてしまつた感があります。近代哲学は、このような趨勢の中で実質的に「理性」のみを哲学の範疇としたために、結果として哲学の不毛、多様化、無力化の時代、更には大衆化社会、没個性的群集心理の社会に至つております。近代哲学は既に破綻していると言えましょう。

「理性」はコンピュータの計算と同じで、限りなく論理的展開が可能であつて、結果として限りなく科学は進歩します。しかし、その進歩に関する善悪の判断はできません。それができて、限りなく進歩する科学を人間としてコントロールできるのは「非理性」即ち人間の本能的精神以外にはありません。

今後の低炭素社会のあるべき姿を模索するためにも、人類は20世紀の総括とモダンイズムの総括をしておかなければなりません。

21世紀を指導する哲学者、思想家、政治家が関西大学から輩出する日が来ることを心より願つております。晩節を汚すことになるかもしれません、私も老骨に鞭打つて今後も努力いたします。

千里山ライフ悲喜交々

大学院会計研究科教授

松尾 圭正



1960年4月、本学商学部に入學して以来50年余、長かつたような短かつたようなアツと言つた50年だった。この間、内外では激動が相次いだ。私にとつて特に刺激的だったのが始めと終わりである。

商学部助手として着任した1969年その年に、本学も学園紛争の嵐に巻き込まれた。着任初年度のこの1年間は、職場を間違えたのではないかとの幻想に囚われるほど、日直、宿直、深夜の学内巡視に追われる日々が続き、星空を眺めながら早朝の教授会に向かうこともしばしばであつた。当時の助手には2年規程の適用があり、助手3年目を迎えるには、着任後2年間で相当の業績を挙げていることが条件とされていたので随分厳しい生活を強いられた。学園紛争を境に学生像が2分した。紛争前は学部・大学院生として本学に籍を置いていた。当時の学生は、教室の内外で活発な意見交換を展開していた。

ところが、紛争後の学生にそうした意見発信の姿が見受けられなくなつた。互いに相手への気遣い、自己抑制に努めているように私には映る。

最後5年は、教育研究面で極めて刺激的な期間であつた。アカウンティング・スクールの創設・運営に關与したのがその理由である。今世紀初頭から、わが国公認会計士試験制度改革の一環として、アカウンティング・スクール構想が登場したので、本学出身会計士を拡充するために、同構想に参画し、本学でも大学院にアカウンティング・スクールを創設すると共に所属を商学部から同スクールに移籍した。

教育面で刺激的だったのは、半期15回にわたるシラバスとその厳重順守が条件付けられた点である。年配者には相当厳しい業務であつた。

研究面では幸運に恵まれた。同スクールで国際会計に関する講座を担当できたのがそれである。わが国会計基準・制度に求められる国際化の要請は日増しに強化されているが、国際会計制度論及び同基準論を担当したお陰で、国際会計の動向を研究・教育に反映し得る機会に恵まれた。

今後も引き続いて、国際会計の動向を注視し続けるつもりである。

●21人の先生が退職●

3月31日付で次の21人の先生が定年等で関大を去られることになった。

法学部(1人) 長谷川佳彦准教授 文学部(4人) 伊藤誠宏教授、島崎守教授、伴義孝教授、ピーター・ジュリアン・メイキン教授 経済学部(2人) 岩井浩教授、楠貞義教授 商学部(2人) 加藤義忠教授、横田茂教

授 社会学部(2人) 浅田正雄教授、高木修教授 外国語学部(1人) G・S・ジョンソン教授 総合情報学部(2人) 山口節郎教授、山名年浩教授 システム理工学部(3人) 岩重卓三教授、樋口誠宏教授、吉田稔教授 環境都市工学部(2人) 室山勝彦教授、八尾眞太郎教授 大学院会計研究科(1人) 松尾隼正教授 大学院心理学研究科(1人) 飯田紀彦教授

新卒業生の皆さんに

このたび新しく社会に羽ばたかれた新校友のみなさん！あなたの肩には40万人の校友の温かい目が注がれているのです。一日も早く私たちのスクラムに加わり、ともに新しい道を切り拓き、母校の永劫の発展に寄与していこうではありませんか！

基本カードの提出を 4月10日までに

みなさんにお送りしております。ご案内に同封しておりますハガキ(平成23年3月卒業・校友基本カード)に必要事項をご記入の上、ご提出下さい。校友会が大学から委託され共同利用する校友の住所管理の基礎資料となります。

今後、現住所、勤務先など変更された場合にも、早急にご連絡下さい。

校友カードの利用につきまして

校友データの利用は、(1)機関紙「関大」の送付、(2)大学からの案内、(3)校友会地域支部等からの総会案内、(4)在学生の就職活動への支援等に利用させていただきます。(詳しくは後述の「個人情報」の取り扱いについて」を参照)

「関西大学校友カード」の申し込みを

校友会では、「関西大学校友カード」を発行し本年3月現在、既に1万人に及ぶ校友

の申し込みを受けております。校友カードはJCB・UCビザ・UCマスター・VISA(三井住友)の4ブランドと提携し、本来のクレジット等の機能を持つほか、校友のみが所持できる会員証の機能を併有、さらに、このカード独自の特典として、提携優待店の協賛を得て特別割引等の特典を設けております。なお、校友のみなさんの特別な負担はございません。

社会人として第一歩を踏み出すみなさん！校友としての友好の絆と、母校への親しみをより一層深めるための絶好の機会です。校友のステータスシンボルである「関西大学校友カード」を申し込んでください。折り返しカード会社より申込書をお送り致します。

個人情報の取扱いについて

校友会では、本会の目的達成のために大学よりご提供いただいた個人情報を厳重に管理し運用しています。登録する情報は、氏名・フリガナ・性別・生年月日・卒業年・学部学科・ゼミ・住所・電話番号と、別途お届けする「基本カード」でご連絡いただいた勤務先等です。今後この情報は大学と共同利用致します。

個人情報を利用するのは次のような場合です

- (1) 機関紙「関大」の送付、
- (2) 大学からの案内や就職に関するアンケート等の送付、
- (3) お住まいの校友会地域支部や関係の同窓会より総会等の案内状の送付、
- (4) 在学生の就職活動の支援(キャリアセンタ―では先輩校友へ失礼が無いよう指導し、所定の手続きを行ったうえで校友名簿及び在社名簿の閲覧を許可しています)

- (2) (4)の利用に同意されない方は、校友会からお届けする「校友基本カード(返信葉書)」か、文書で校友会事務局までお届け下さい。
- その場合(1)の機関紙の送付以外には一切利用いたしません。

なお、お届けが無い場合は、(2) (4)の利用に同意いただけたものと見なします。

個人情報は第三者に開示・提供しません

校友会では、法律に基づき開示しなければならない場合を除き、本人のご承諾が無い限り登録された個人情報を、第三者に開示・提供いたしません。

せん。

個人情報はいつでも開示・変更または削除できます

校友会では、会員ご本人より申し出があった場合に限り、その本人の登録情報を開示します。また個人情報の追加・訂正または削除は、本人の届け出により行います。引越、住居表示の変更などの場合は、必ずご連絡下さるようお願い致します。

【重要】悪徳業者による個人情報

最近、関西大学卒業生に対して、関西大学や校友会と紛らわしい名前を騙り、電話やハガキで個人情報を集めているケースがありますのでご注意ください。個人情報の問い合わせには、必ず発信元の電話番号や住所を確かめたうえで、ご返事ください。不審な場合は、校友会事務局までお問い合わせ下さい。

個人情報は厳重に管理しています

校友会では、個人情報の紛失・誤用・改ざん・外部からの侵入がないよう厳重に管理し、一般の利用者がアクセスできない安全な管理下に保管しています。

まよと

校友録

Kandai Kiratto

Part 29

一九七二年、夫の文男氏と二人三脚で始めた、のむら・アート・るーむ。子どもたちがのびのびと楽しみながら取り組む中で個性や独創性を伸ばし、手先が自然に器用になるプログラムを続けてきました。阪神淡路大震災と同じ年の七月にはお父様が亡くなり、会社を継承することになった野村さん。午前中は『典子社長』、午後は『のりこ先生』、二つの顔を使い分ける毎日を送っています。また、長女の留学を機にホストファミリーとして数々の留学生を受け入れてきた経験、昨年末に亡くなったお母様の介護などについてうかがいました。

人をつなぎ、国をつなぎ、心をつないだアート・るーむ

今 年で三十九年を迎える、のむら・アート・るーむ。野村さんが大学三回生のとき、後に結婚することになる文男氏と立ち上げました。二人は元々高校の美術部で先輩・後輩の仲。当時、京都市立芸大生だった文男氏と阪急電車で再会したのを機に意気投合、お付き合いが始まります。後に野村さんが「子どもの絵画教室を始めよう」と提案したことからスタートしました。「今思うと、学生の起業家ですよ」と笑います。神戸市中央区のオリンピア幼稚園を皮切りに、垂水や須磨にも教室が増えていきました。最初のオリンピア幼稚園は阪神淡路大震災の被害が大きく、園は無くなったそうですが、今では七教室、十二クラス、生徒数は約二〇〇名の規模に成長しました。

「今は少子化の時代ですから生徒を集めるのは大変でしょうとよく言われるんです。でも、のむら・アートはお陰様で年々微増しています」。生徒の確保に悪戦苦闘している教室が多いなか、増えているのはなぜでしょう。「学校では、一クラスで発達障害の子どもは六%ほどいると言われていますが、うちの教室では約十二%。他の子どもと上手に関われないとか、不用意に体に触れられるとパニックを起こすなどの特徴がある子どもたちです。でも、彼らは発想力の豊かな素晴らしい作品を作るんです。学校では安心できる居場所のない子どもたちが、こういった教室を求めて増えているのかもしれないね」。のむら・アート・るーむでは、発達障害の生徒が増えていることや昨今の時代背景もあり、スタッフと緒に勉強する機会を作ったり、野村さん自身が大学でのセミナーに参加し、より理解を深めています。

また、野村家は二〇〇三年から留学生を受け入れるホストファミリーもしています。後に、関大商学部に入学することになる長女が高校二年生の時、交換留学でアメリカ人を受け入れたのが始まりでした。



▲事務所・社長室にて(2011.2油絵は本人作)

そのアメリカ人の女子高校生は、精神的にも食事の面でも大変難しい女の子だったそうですが、野村家に滞在中、アート・るーむのお手伝いをする中で自閉症に関心を持ち、現在はハーバード大学の大学院で日本文化を研究する傍ら、自閉症児についての研究も進めているそうです。アメリカ人の他にイングリ、ノルウェー、台湾、韓国からも留学生を受け入れてきました。徹底したベジタリアンの滞在期間は、何と野村家の人々が食事を合わせていました。そのお陰で油揚げと豆腐、チクワ、野菜だけの通称『貧乏すき焼き』や『かまぼこ丼』など珍しい料理のレパートリーが増えたとか。台湾からの留学生は、アート・るーむの日常を写真に撮り続け、写真集を作ってくれました。留学生たちはホームステイだけではなく、皆それぞれにアート・るーむでの関わりを通じ、野村家や生徒の子どもたちとのつながりを深め、今でも常に誰かが『里帰り』している状態だそうです。



▲左より留学生2人と本人、長女、夫(2011.2)

アート・るーむと家族の支えが会社経営の後押しに

多 くの生徒や留学生を受け入れ、育ててきたアート・るーむですが、メインの教室が自宅だったこともあり、野村さんの三人の子どもたちには試練もあつたようです。「当時三、四歳だった長女が、自分と同年くらいの子に向かって『母さんは、あかねの母さんなの!』って怒ったことがあります」。

小学生のときは『私の居場所がない』ってキッチンの隅っこで宿題をしたり。兄たちも勉強をしていると生徒の子どもたちが入ってくるので、『この家は誰の家やねん！』って。今思うとわが子にも犠牲を強いてきたのかもしれないね。でも、今の生活は家族の支えがあったからできたこと、絵画教室が生活のベースなんです」。

一方、野村さんは現在、社長として複数の会社を切り盛りしています。一九九五年七月、創業者であるお父様が亡くなり、野村さんが後継者に。社長秘書として働いていたこともあり、会社のことも分かっていました。そのうえ、アート・るゐがあったからこそ、継ぐ決心ができた野村さんは言います。「主人と二人、生活の足場として絵画教室を築いてきました。そこで子育てもしましたし、私たち家族の揺るぎないベースになったんです。その自負があったからこそ、思い切って会社経営にも踏み込めました。学生時代に会計学を専攻していたことも幸いでした」。

野村さんの経営する会社は、総合メンテナンス業、運送業、駐車場運営、清掃資材の販売、不動産管理、ハウスクリーニング業など、多岐にわたり神戸だけでなく、四国や九州にもあります。そのためアート・るゐでの指導を続けながら、月に三〜四回の出張をこなします。「午前中は事務所実務を行い、午後からはアート・るゐの先生です。午後二時を境に『典子社長』から『のりこ先生』に変

身するんです。服装もガラッと変えて。会社のスタッフにも一時以降は『のりこ先生』と呼んでもらっています」。

また、野村さんは社長に就任した三年後に簿記の二級試験を受験し、合格もしています。社長業もいい加減に

したくなかったため、自分で数字の見直しをしようと思ったからでした。「創業者の父は、とにかく利益を追求しました。私は会社の社会的な責任が重要だと考えていたので、父の生前にもよく衝突していましたね。今は、現場で働く人の背景にあるものを一番に考え、業務にあたっています」。

先生、社長、母さん。

いろんな顔で今後も全力投球

長と先生の多忙な日々を過ごしながら、二〇〇七年からは病気で倒れたお母様との同



▲自宅アトリエにて子どもたちを指導中(2007.7)

居による介護も始まります。出張先での会議中に緊急の電話がかかってくることもしょっちゅう。「そんな時は、待たなしの遠隔操作が必要でしたので主人をはじめ、さまざまな方々にお世話になりました。八〇歳まで自分で車を運転していた元気な母でしたが、昨年十二月に亡くなりました。寂しい半面、今は縛られていた時間と気持ち解放された感じです」と語ります。一五年間続いている年末の恒例行事、野村家の餅つき大会は喪中にもかかわらず、お母様の希望通り決行し、昨年も七〇名近くが集まり冥福を祈る行事になりました。

常にたくさんの方が集まる野村家、のむら・アート・るゐ。「今後は、障害を持つ子どもたちも持たない子どもたちも一緒にアートのできる場所づくりを目指したいですね。なかなか家から出られない、でも、アート・るゐにだけは通って来られるという青年や、このアトリエに通い出して十年以上という中学生、高校生が四、五歳の幼い子どもたちと普通に並んで楽しそうに会話をしながら、仲良く絵を描いていたりします。それが自然なんですね。また、いつまでもたっても留学生が『かあさん、ただいま』って帰ってくる家でありたいです。そうそう、あとは留学生たちの故郷を巡る世界旅もしたいですね。アート・るゐの『のりこ先生』、会社経営の『典子社長』、留学生たちの『KASAN(母さん)』、そして、妻として母としてこれからも頑張っていきたいと思っています」。

典子社長、のりこ先生 午後二時を境に大変身！

野村 典子さん

プロフィール

野村 典子(のむら のりこ)さん

一九七三年 関西大学 商学部卒業。のむら・アート・るゐ主宰、牛村興産(株)代表取締役。大学三回生のとき、夫の野村文男氏と共に子どものための絵画教室 のむら・アート・るゐを開設する。現在七教室、十二クラス、生徒数は約二〇〇名。一九九五年からは創業者である父の後を継ぎ、建物の総合メンテナンス、運送、不動産業など複数の会社の代表取締役も兼務し、四国・九州方面への出張も精力的にこなす。



南千里国際プラザの地鎮祭を挙行 2012年に「留学生別科」開設へ

関西大学では、大阪府のコンペで獲得した千里留学生会館の跡地（吹田市佐竹台1丁目）に「南千里国際プラザ」を平成24年4月に開設するため、1月15日に上原理事長、楠見学長ら大学関係者、地域住民代表などが出席して地鎮祭を執り行った。完成は24年2月。

南千里国際プラザは、関西大学ほか日本の大学に留学を希望する外国人に進学予備教育を行う「進学コース（留学生別科として文部科学省に届出

予定）など4コースからなる「関西大学日本語・日本文化教育プログラム」を行う教育施設と留学生寮の複合施設で、間に中庭を設け、留学生と地域住民の交流を図る催し等にも利用される。

施設のうち留学生寮は8階建てで、156室全室にバス・トイレが完備され、共同のキッチン、ラウンジのほかジムも設置される。寮には「日・文プログラム」の学生のほか、関西大学で学ぶ交換受入留学生も入り、一般学生も「レジデント・アシスタント」として入居し留学生の宿舎生活のアドバイス・支援を行うことになっている。

教育施設は3階建てで、進学コース（留学生別科、期間1年）の学生のほか、語学留学コース（期間1〜2学期、日本社会、文化に触れながら日本語能力の向上を図る）、短期語学研修コース（原則として1ヵ月程度の文化体験型。社会人も含む）、学習支援コース（関西大学に在籍中の留学生の学術活動をサポート、期間は1〜2学期）の学生たちが学ぶ。

福島学舎記念碑を建立 学舎完成の日に除幕式

関西大学の最初の本格的なキャンパスとして明治39（1906）年12月17日に完成、22年余にわたり多くの学徒が学んだ福島学舎の跡地に記念碑が建立され、学舎完成の日に当たる12月17日に除幕式が行われた。



設置場所は、大阪市福島区福島7丁目19-9大和包装工業（株）のビル壁面で、オーナー藤川幸久氏の協力で実現した。碑文には、明治38（1905）年に「私立関西法律学校」から専門学校令による「私立関西大学」に名称を変更した本学が、市電敷設計画により江戸堀から福島への移転を決め明治39年に完成した、洋館風木造2階建て校舎と図書館や武道場も備えていた、一高一中の前身である関西甲種商業学校もこの地から誕生した、昭和4（1929）年に東海道本線の拡張工事のため天六学舎に移転した等が記されている。

現地で行われた除幕式には上原理事長・市原副学長はじめ大学関係者、寺内校友会長、水本教育後援会長らのほか、数年前から記念碑設置を要望して調査を進めてきた福島支部からも宮腰支部長ら10人が出席し、碑の建立を喜んだ。



因みに、初代岩崎卯一、2代大月伸、3代岡野衛士、4代樫本信雄の歴代校友会長は福島学舎出身で、劇作家北条秀司も「鉄道列車の騒音で講義がよく聞き取れなかった」と懐述している。俳人丸岡忍氏は「冬の夜の奇しき出会いや学びの灯」「寒灯の大事に照らす遺賢かな」の折句を寄せてくれた。

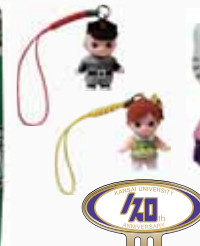
ANSAI KUグッズ UNIVERSITY

For Memory & Campus Life

記念品やお土産に是非ご利用下さい

●詳しいお問い合わせは

関西大学生協同組合 Tel: 06-6368-7536 E-mail: ku-shop@kandai.ne.jp



インターネットからお申込みいただけます ⇒ <http://www.kandai.ne.jp/>

2011年度一般入学試験終わる 志願者は微減の8万6463人

2011年度の学部一般入
学試験及びセンター利用入
学試験は、学部個別日程・全
学部日程・センター利用中期
試験が2月1日から8日まで
後期日程・センター利用後
日程が3月3日と4日に、千
里山キャンパスをはじめ全
28都市で実施された。

11年度の志願者数は、昨
年度より1936人少ない8
万6463人(97・8%)とな
った。18歳人口はほぼ横ばいの
状況だが、今年も長引く経済
不況が受験生の志望校選択に
も影を落としており、家から
通学できる大学を選んで家計



の負担を減らそうという地元
指向と国公立大学指向が強ま
っている。

また、今年の特徴はセンタ
ー試験利用の受験者が増えた
こと。昨年開設された人間健
康学部と社会安全学部が今年
からセンター利用入試を行い
全13学部で実施したことある
が、センター試験利用入試
の中期・後期は自分の成績を
確認してから出願できるため
今年はセンター試験の平均点
が上がっており、成績のよか
った生徒が出願したものが見
られる。

なお、人間健康学部と社会
安全学部は、今年も受験生の
高い感心を集め、志願者は人
間健康学部が昨年比171・
5%の4765人、社会安全
学部が同119・2%の32
73人となった。その他の学
部の志願者数は次のとおり。
%は昨年度比。

法学部5976人(87・
5%) 文学部1万490人
(89・1%) 経済学部94
63人(98・8%) 商学部
9637人(97・6%) 社
会学部9988人(86・8%)
政策創造学部4702人



(115・9%) 外国語学部
4332人(110・2%)
総合情報学部6154人
(82・9%) システム理工学
部7814人(98・1%)
環境都市工学部4210人
(91・4%) 化学生命工学
部5659人(106・3%)
なお、AO入試やSF入試
など多彩な入試を加えた志願
者総数は9万275人となっ
た。

エセム経営学院と協定 海外の協定大学は54に

このほどフランスにあるエセ
ム経営学院(ESCEM)と
それぞれの大学における研
究・教育を推進し、研究者
間・学生間の総合理解を増進
させることを目的に、国際交
流計画に関する基本協定を締
結した。

今後、研究者の交流や学生
交流、学術情報・資料の交換な

ど幅広い分野で交流を進める。
今回の協定締結で、関西大
学の海外協定大学は54校とな
った。

大阪市北区役所と協定 大学とゆかりの区

関西大学と大阪市北区役所
は、連携協力に関する協定を
締結することで合意に達し、
2月24日に協定書の調印式を
行った。

大阪市北区には天六キャン
パスがあり、昨年7月には同
区の天神橋筋商店街内に社会
的信頼システム創生センタ
ーの研究拠点である「楽歳天
三」、地域連携拠点の「楽市
楽座」を設置している。今回
の協定は、活力ある地域づく
りと大学の教育および学術研
究機能を高め、人材育成など
の活性化に寄与するために連
携を推進することを目的とし
ており、今後、地域コミュニ



FACADE DESIGN & ENGINEERING

YKK AP株式会社 事業本部 関西ビル建材統括支店 大阪第一支店
〒540-8534 大阪市中央区谷町4-8-7
TEL: 06-6947-4141 <http://www.ykkap.co.jp/>

YKK AP

「くらしと水」の接点を支えています

暮らしになくてはならない水——
タブチは、安全で快適な給水用具の創造で
人々の暮らしを支えています

給水用具の設計・開発・製造
株式会社 タブチ

〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1番56号
TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210 <http://www.tabuchi.co.jp/>

TBC TABUCHI

ティの活性化や教育・文化の振興、地域産業の振興に関することなど、さまざまな分野で連携協力する。

ミスノと連携協定を締結 スポーツ基軸に社会貢献を

関西大学は、1月17日にスポーツ総合メーカーのミスノ（株）と、スポーツ振興や社会貢献などで連携協力すると発表。連携協定を締結し、楠見学長と同社上治丈太郎専務取締役が協定書に調印した。

両者は今後、スポーツを基軸とした社会貢献事業を積極的に展開し、体育会を中心に淀川の清掃活動、学内・大学周辺の清掃、子ども向けのスポーツスクール（カイザースクール）などに取り組むことになっている。



「大阪マラソン」に協賛 大阪が拠点の大学として

「マラソンを通じて大阪の街を元気に」の趣旨に賛同し、関西大学は10月30日（日）に開催される第1回大阪マラソン2011に協賛することになった。

大阪マラソンは、大阪独自の新しい「祭り」として世界各地から3万人のランナーを募るとともに、世界で最も多くの人がチャリティに参画することを目指す大規模市民マラソンで、関西大学は、協賛団体として大会の運営に協力するとともに、マラソンや大阪の魅力を紹介する市民向け公開講座、スポーツ教室、通訳ボランティア、給水ボランティア、海外協定大学を通じた大会広報などの取り組みを行う予定。

ミューズキャンパス南側の JR線橋・歩道橋が完成

高槻ミューズキャンパス南側のJR京都線を跨ぐ弁天こ線橋・弁天歩道橋が完成。12月24日に使用開始式典が行われ、同キャンパスに通う学生や生徒・児童が渡り初めに参加し、新しい通学路の完成を喜んだ。



こ線橋と歩道橋は連結しており約150m。屋根付きで幅は約4m。歩行者専用で自転車は押しして通行する。橋の両側にはエレベーターも設置されており、車椅子利用者もスムーズに移動できる。

阪急高槻市駅からミューズキャンパスに通うには、これまで三角形の2辺を歩くようにならなかつたが、こ線橋と歩道橋の完成により1辺を直線的に行けるようになり距離も時間も大幅に短縮された。

織田作之助賞贈呈式 上原理事長が賞状授与

大阪市中央区の綿業会館で2月25日、第27回織田作之助賞贈呈式が行われ、主催者（大阪文学振興会、関西大学、毎日新聞社）を代表して、上原洋允理事長から織田作之助青春賞・同賞佳作受賞者に賞



状と記念品が贈呈された。受賞者と受賞作品は、織田作之助賞 金原ひとみ『TRIP TRAP（トリップ・トラップ）』、青春賞 香川みわ『おっさん』、青春賞佳作 森田弘輝『逃げるやもりと追うやもり』。

人との出会いを大切に 高木修教授の最終講義

1月11日、高木修社会学部名誉教授の最終講義が千里山キャンパス第三学舎ソシオ大ホールで行われ、本学学生や卒業生、教員ら約300人が聴講した。講義の冒頭では、高木教授が、学生時代に心理学という学問と出会い、恩師の関わりによって今日の研究の礎がいかにして築き上げられたかについて、楽しいエピソードを交



えながら紹介された。続いて、関西大学に勤めた43年間を振り返り、世界的な研究者としての研究交流が、高木教授ご自身の新たな研究テーマの展開に繋がったことに触れるとともに、その経験を活かし、本学における心理学教育の充実に貢献し、結果として、多くの鋭意な社会人と研究者を輩出してきたかについてお話しになった。

そして、学生たちに向けたメッセージとして、チャンスを手求め、人との出会いを大切にしながら、その人間関係の中で誠実に行動し、可能な限りベストを尽くすことの重要性を自らの経験から訴えられた。

最後に、学生らによるサプライズDVDが披露され、大きな感動と満場の拍手に包まれ、「好きであり続けた関西大学が益々社会に受け入れられ、発展することを祈っています」とのメッセージを残され、両手一杯に花束を抱えて高木教授は降壇された。（佐藤貴之）

やったぞ！サッカー部

43大会ぶり2度目の大学日本一

第59回全日本大学サッカー選手権大会の決勝が、1月5日に東京・国立競技場で行われ、関大が延長戦の末2-1で中京大を破り、43大会ぶり2度目の優勝を果たした。

関西リーグ2位で今大会の出場権を獲得した関大は、160部員の「全員サッカー」を合言葉に全国の舞台で快進撃を続け、準決勝では筑波大に劇的な逆転勝利をおさめ決勝へ進出。

決勝戦。試合開始から流れ



を掴んだ関大は、前半18分、DF田中雄大(商4)があげたクロスをもF.W金園英学(文4)が頭で合わせ先制点を奪った。その後は中京大の素早い動きからのシュートにもGK金谷和幸(人健1)がゴールを死守し、前半を終了。

後半も防戦を強いられましたが、堅く守りぬぎ、日本一へのカウントダウンが始まった。

しかし、終了間際に与えてフリーキックがそのままゴールへ。ラストプレーで同点に追いつかれ延長戦へもつれ込んだ。

延長戦では、両チーム激しくゴールを狙い一進一退。後半11分、途中出場したF.W安藤大介(社2)の右からのクロスをも、やはり途中出場のF.W奥

田勇太(文1)が頭で押し込み、これが決勝点となった。スタンドでは、「全員サッカー」と染め抜いた真つ赤な小旗を手にした控えの部員や神奈

43年ぶりの日本一が意味するもの

新年早々、1月5日の国立競技場、その場に私がいることに感謝した。

第59回を迎える全日本大学サッカー選手権、通称、インカレ、この優勝に顧問として立ち会えた私は本当に幸せであった。私は何もしていない。一昨年の4月、前任の教授の定年退職の後を受けての顧問就任、何もせず、ただ前任者の遺産を受け継ぎ、黙って、監督、コーチの指導を信じ、選手のプレーを信じ、試合を見守っていたにすぎない。

そして、国立のロイヤルボックスで優勝杯を掲げる藤澤キャプテンとベンチ入りメンバーを、100人を超える部員たちや関大関係者とともに見守る幸せに浸つたにすぎない。

思えば43年前の優勝、当時の立役者のひとり、湯口栄蔵氏はすでに鬼籍に入られているが、翌年のメキシコ五輪では日本代表として銅メダル獲

川支部など関東在住校友、関西から駆けつけたOBなどが懸命の声援をおくり、優勝が決まると大歓声が沸き起こった。

サッカー部顧問 黒田 勇



得に貢献された。サッカーは隆盛を極めるかにみえた。

しかし、その後、日本代表も、関西大学サッカー部も低迷を迎える。その間世界のサッカーも、大学サッカーも進化を遂げ、もう追いつくことはできないかのように見えていた。しかし、スポーツではよく言う「練習は自分を裏切らない」。同じことがスポーツの長期的強化にも言える。合理的で確固とした戦略、地道な努力は、必ず実を結ぶ。両者は

徐々に力をつけ、ともに花開いた。日本代表はともかく、関大サッカーの開花には、法人やOB会の尽力にも感謝しなければならぬ。寺内俊太

郎会長をはじめ、校友会からはいつも物心両面で支援をいただいている。本当に有難いことだ。

さて、「黙って試合を見る」顧問に徹している私だが、時に学生たちに檄を飛ばす。

インカレの決勝を前に、こう激励した。

「君たちは3万人の関大生、教職員の代表であり、3万人の関大生に期待され支えられている。そして40万人の校友の代表であり、40万人に期待され支えられているのだ。君たちの勝利はみんなの喜びと勇気となり、敗北はみんなの落胆と悲しみとなる。君たちは、君たちではない。私たちはそのものだ」。

関大サッカー部の彼らは「私たち」として十分に力を発揮し、そして優勝を勝ち取った。私たちは、「私たち」としての彼らの勇気に感謝するのみである。(副学長・社会学部教授)

優勝報告会と

J1入団報告会及び日本一祝勝会を開催

第59回全日本大学サッカー選手権大会で43大会ぶりの優勝を飾ったサッカー部の優勝報告会とJリーグに入団する2選手の報告会が、1月14日に第2学舎4号館BIGホー



ル100で開催され、楠見学長・上原理事長はじめ大学関係者や学生、一般市民約500人が参加した。

優勝報告では、主将の藤澤典隆君(経4)から「決勝戦に限らず、みんながひとつになつて勝ち取った試合だった。多くの人に支えられて優勝という結果に結びついた」と感謝の挨拶があり、「リーグ入団報告会では、ジュビロ磐田に入団内定の金園英学(文4)、川崎フロンターレに入団内定の田中雄大(商4)の2人から「リーグでの活躍に向けての抱負が語られた。」

また、日本一祝勝会は、1月30日に100周年記念会館で大学・校友会・体育OB会等の役員、サッカー部OB、同後援会・サッカースクール関係者、保護者など約450

人が出席して開催された。

冒頭、日頃行っている淀川の清掃活動や8月尾鷲市でのサバイバル合宿、子どもたちを教えるサッカースクールなど日常活動と、今大会の試合のハイライトがビデオで上映され、楠見学長が「スポーツ、勉学、課外活動を通じて人格形成を見事に実現してくれた。また新たなチャレンジ精神を持って、連覇に向けて頑張つてほしい」と激励した。

また、阪口善雄吹田市長は「青少年に夢と希望と感動を与えてくれてありがとうございます。35万市民を代表して感謝状を贈ります」と選手の健闘を讃え、藤澤典隆主将に感謝状を手渡した。

乾杯の後、顧問・監督・コーチ・選手紹介では、それぞれから「皆さんに支えられて」の言葉が続ぎ、参加者はさすがしい気持ちで杯を重ねていた。

ヨット部の後藤・西山組470級ジュニア世界選手権で日本人初の銅メダル

12月17日、22日にカタル・ドーハで行われた2010年470級ジュニア世界選手権大会(U-22)に、女子の日本代表として出場したヨット



ト部の後藤沙季(文3)・西山宏美(文2)組は3位に入り銅メダルを獲得した。470級ユニアワールドでのメダル獲得は、男女を通じ日本初の快挙。

女子は、強豪ドイツから6チーム、日本から2チームなど、8カ国16艇という少数精鋭で争われたこの大会、2日目には女子の4レースが行われ、軽量の日本チームが得意とする微軽風の中、後藤・西山組は1-2-1-1。3レースでトップフィニッシュという快進撃をみせ、5レースを終えて首位に立った。その後のレースでは7-6位ながらドイツ艇と同率トップで上位10艇によるメダルレースに出場。強い風の中を懸命のセーリングで6位フィニッシュ。総合3位となり銅メダルを獲得した。

速記部が45連覇を達成 次回記念大会に向け努力

12月5日、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた第99回全日本大学速記競技大会において、私たち文化会速記部は優勝し、大会45連覇を達成しました。

3週間に亘る厳しい練習に加え、春大会と違い東京での開催ということもあり、コンディション調整が難かったのですが、選手の一人一人がそれを乗り越えて、連覇という結果を残すことができたことは大変すばらしいことだと思います。また私自身、主将を務めた一年間無事連覇を続けることができたことに安堵しています。

しかし、春に比べると他大



学に差を縮められてしまい、また級によつては他大学に一位を奪われるなど、課題も多く見えた大会でした。この結果を踏まえて、来年以降の大会、特に次回の記念すべき第100回大会においても結果を出すことができるよう、今後とも部員一同精一杯の努力を続けていきたいと思ひます。

(速記部主将 久保和幸)

高橋・織田ら4選手の世界選手権等出場壮行会

世界フィギュアスケート選手権大会等に出場するアイススケート部4選手の壮行会が1月12日に第2学舎4号館BIGホール100で開催され、会場に集まった学生や一般市民約700人が活躍を祈願しエールをおくった。



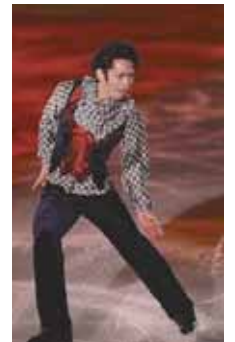
高橋大輔（M2）は世界フィギュアスケート選手権大会と四大陸選手権大会、織田信成（文4）は世界フィギュアスケート選手権大会とユニバーシアード冬季競技大会、町田樹（文3）はアジア冬季競技大会、國分紫苑（社1）はユニバーシアード冬季競技大会に出場する。

楠見学長・上原理事長が「世界選手権では2人でワン・ツ・フィニッシュを」「少々のミスを恐れず練習の力を十分に発揮して大胆な演技を」と激励。寺内校友会長らから活動奨励金を受けた各選手は、それぞれ大会に向けての決意を披露した。

空手道部梶川凜美ら世界や全日本で活躍する選手から花束の贈呈を受け、43大会ぶり大学日本一になったサッカー部員の騎馬に跨がって手を突き上げる選手に、会場からは大きな拍手がおくられた。

四大陸フィギュア 高橋が大差で優勝

2月15日、20日に台湾・台北市で開催された2011四大陸フィギュアスケート選手権大会男子シングルで、アイススケート部の高橋大輔（M2）が金メダルを獲得した。



高橋は、ショートプログラム（SP）で83・49点を出し、首位に立つと、フリーでも160・51点をマーク、今季自己最高の244・00で、2位に16点近い大差を付けて優勝した。

高橋は、3月23日から東京で開催される世界フィギュアスケート選手権大会に出場し、2年連続優勝をめざす。同大会には織田信成も出場する。

ユニバー冬季大会フィギュア 織田が金、國分が銅メダル

1月27日、2月6日にトルコ共和国・エルズルムで開催された第25回ユニバーシアード冬季競技大会のフィギュアスケート男子シングルで、アイススケート部の織田信成（文4）が金メダルを、女子シングルで國分紫苑（社1）が銅メダルを獲得した。



また、SPで3位につけた國分はフリーでも3位となり、合計141・80点で銅メダルを獲得した。

日本選手団の主将を務める織田は、SP 77・04点で首位、フリーでも最高点をマークし、2位に20点近い大差を付ける223・15点で優勝した。

日本学生氷上・フィギュア 澤田が女子Aクラスで2位

1月6日、9日に釧路市で行われた第83回日本学生氷上競技選手権大会・フィギュア部門女子Aクラスで、アイススケート部の澤田亜紀（文4）が2位に入賞した。

「スケートは大学卒業まで」と決めていた澤田は今季で引退、16年間の選手生活にピリオドを打ち、卒業後はスポーツクラブのインストラクターとなる予定。

アイスホッケー部は インカレでベスト8

アイスホッケー部は、9月20日、11月28日まで行われた第57回関西学生リーグで、予選リーグ、決勝リーグを通して全勝で優勝を飾り、見事3連覇を達成した。

その後、1月6日、9日に行われたインカレ（第83回日本学生氷上競技選手権大会）に出場。青山学院大、専修大を破り準々決勝に進んだが、東洋大に惜しくも1-2で敗れ、ベスト8に終わった。

第1回よさこい甲子園で 漢舞がグランプリを獲得

阪神淡路大震災15年追悼事業として12月23日に阪神甲子園球場で行われた第1回「よさこい甲子園」で、準登録団体の関西大学学生チーム「漢舞」がグランプリを獲得した。

戦災からの復興を目的に昭和29年高知で発祥したよさこい踊りで、震災被災地西宮に「まちのにぎわい」を取り戻し、全国に「元氣」を発信しようと企画されたもので、全国各地から選抜された43チーム約3600人の踊り子に加え、有志による合同追悼チーム、地元民謡協会や小学生チーム、

宝塚歌劇団OGを中心としたゲストチームなども参加、よさこい踊りの日本一を目指して華やかな漢舞が繰り広げられた。グランプリに選出された「漢舞」は、夕闇迫る甲子園球場で軽快でかつ迫力ある舞を披露した。

北陽高陸上部が健闘 大阪高校駅伝では3連覇

12月26日、都大路を舞台に行われた第61回全国高校駅伝に出場した北陽高校陸上部は、2時間10分33秒で34位に入り、初出場だった昨年より約2分タイムを縮め、45位から大きく順位を上げた。

また、1月10日に大泉緑地で行われた第52回大阪高等学校駅伝競争大会では、1時間26分5秒の記録で優勝。3連覇を達成した。

一高サッカー部 国立ならず

第89回全国高校サッカー選手権大会に2年連続4回目の出場を果たした一高サッカー部は、1月2日に山形代表の羽黒高校と対戦、3-1で勝利。翌日の第2戦も福島尚志高校に1-0で勝ち、ベスト8入りを果たした。しかし、

準々決勝で京都・久御山高校に1-1の後、PK戦で敗れ、国立競技場で行われる準決勝

に駒を進めることはできなかった。

一中3年生の大西春花が

「歌会始」の儀に最年少入選

「大丈夫」この言葉だけ言ふ君の

不安を最初に気づいてあげたい

歳末に大きなニュースが職員室に飛び込んできました。宮内庁からの電話問い合わせがあり、平成23年1月14日、皇居・宮殿松の間にて新春の宮中行事「歌会始」の儀がとりおこなわれますが、貴校生徒の大西春花さんの和歌が選ばれました」という報せです。しかし、これはあくまでも内々の問い合わせですから慎重に

扱わねばなりませんでした。

今年のお題は「葉」で、日本全国だけでなく、広く海外からも応募された2万余首の和歌の中から10首だけが選ばれ、宮中に招かれて天皇陛下、皇后陛下の前で和歌が披露されることになったからです。しかも、大西さんはその中の最年少です。

関西大学第一中学校では、国語表現力を高める指導の一貫として数年前から、「歌会始」に詠進してきました。大西さんも夏休みの宿題として作った和歌が、まさかほんとうに選ばれるとは夢にも思っておりませんでした。

当日、TV中継をクラスの仲間をはじめ学校のみんなで見守りました。年齢の若い順に披露されるため、10人の中でも最初です。大西さんは緊張していたそうですが、私たちには実に落ち着いていた、しつ



ご両親と皇居で

かりとした態度に見えました。和歌が披露され、バスケットボール部の部活動中、引退が迫った夏休み前に、打つても打つてもシュートが決まらず、スランプに陥っていた時、親友からの温かい言葉に励まされた経験があり、その親友への感謝の気持ちを詠んだものです。

儀式のあと天皇陛下、皇后陛下よりそれぞれ優しいお言葉をいただき、春秋の間で祝い酒を、連翠の間で撰者の方とともにお祝いの食事を賜り、すばらしい夢のような時間を過ごしたそうです。

終わりに、今回の「歌会始」への出席に際し、校友会本部ならびに校友会伊丹支部をはじめとする関係各方面よりたくさんのご祝電、ご厚志をいただき誠にありがとうございました。この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

(第一中学校・相良雅文)

関大能を観賞して

前財産評価委員長 中野 英満

12月12日、藤井収氏の勧めで初めて、「関大能」を山本能楽堂で観賞した。能楽部のあることは知っていたが、これほど本格的に舞台で演ずることまでは想像できず、スポーツの

他に文化面でも素晴らしいクラブのあることを、驚きをもって認識した。

そもそも私が謡曲とか能に関心を持ったのは、昭和33年頃、勤めていた兵庫銀行(現みなと銀行)で謡曲部に入り、観清社朝山清太郎師の流れを汲む土田耕三師より手ほどきを受けたことに始まる。週一回、約1時間、銀行の宿直室で稽古した。土田師には十数年教えていただき、曲数は80程度。しかし、能を本格的に演じたことはない。

能についてはここ数年、金春流の能(大槻能楽堂)を年2回観賞している。仕事の関係で親しくしている方がチケットを送ってくたさるので、ご好意に沿うべき観賞しているが、観世流とは謡曲本の内容に若干異なつた言い回しがあり、観世百番集を持参しても戸惑うことがある。

他流の能を観賞することに

馴れた私にとって、久しぶりに観賞した「関大能」は、若さに溢れ、その懸命な演能に感激し、かつそのレベルの高さに感心させられた。「竹生島」の能はお見事。主役の前シテ、後シテや前ツレ、後ツレ

を学生の皆さんが演じ、脇役のワキ、ワキツレを一流のブ口の先生方が固め、格調高い演能で、学生たちの「完璧な演能を」という一途な緊張感が伝わってきた。素謡、仕舞も賛助出演の他大学(甲南、関学、大阪樟蔭女子)を凌駕する出来映えと感じた。これも山本章弘師という一流の先生に直接指導していただいていること、学生たちの熱意が関大能に結実し、表現されたものと思う。

最後に、能楽堂の深々とした静寂の世界に身を置き、時空を超越した人間本来の姿を演じる能は、華やかさにおいて歌舞伎に及ばないものの、言語を解さない外国人の心を打つ何かが潜んでいる悠久の芸術と思わずにはいられない。文化会能楽部員の大半が女子学生とか。大学及び校友会の一層の応援を期待したい。

(昭27学法、不動産鑑定士)



オース!ごきげんさん。

連載 37



備前焼の魅力

ここで備前焼についてお話しします。備前焼は六古窯の一つです。

他には越前、瀬戸、常滑、信楽、丹波があります。約一〇〇〇年の歴史があります。

原料はヒヨセ粘土という備前市伊部地方で採掘される田土です。これを新窯で十日前後焼き締めると備前焼になります。絵付けや施釉は施しません。焼成途中に炭火が作品に当たればサンギリ焼に、松割木の灰がかかるとうま焼に、直接炎が当たらない様になればヒダスキ焼になります。焼く季節によって窯全体の雰囲気も変わります。梅雨の湿度の高い時は黒っぽく、わらの跡も金色や銀色になったりします。湿度の低い時は明るい感じの仕上がりになります。自然現象や窯の立地条件に大きく左右されます。この土の素朴さと



▲高橋選手に贈った備前焼記念皿

松割木を使った炎の力により産み出される自然美こそが備前焼の魅力と言えます。作り手としては、ある程度は焼き上がり想像して窯を詰めますが、思わぬ窯変が起こり素晴らしい作品が取れたりします。逆に期待はずれの時もあります。毎回真剣勝負の窯焚きをしています。そこがこの道に入った喜びかもしれません。

また、無釉焼締め陶器なので使えば使うほど色艶が良くなり、手に馴染んできます。『焼くまでは私の仕事ですが、育ててくれるのはお客さんですよ。箱に閉まっておかず一年使って下さい。買って下さった時より必ず色が良くなりますからね』と、よくお客さんに話します。実際に何年も使った作品を見せてくれる人もいます。凄じい艶をして、フィット感も抜群で改めて感心します。これも備前焼の魅力です。

備前焼作家として

作り手として出来る事は、形作りが本命になります。素朴な自然美が特徴なので、それを踏まえ新しい形を考えています。もちろん先人たちに感謝しその作品を顧みることも重要です。現在、私は今日の生活様式にマッチした作品を心がけて変形花器や板作りの花入などを中心に終わりのない作陶の日々を

備前焼と私

〈下〉 松井 浩之



▲自家の窯の前で

送っています。学生時代に覚えた事も作品作りのヒントになっています。焼についても父より継承した藍彩や練上げに加え、黒襷などを研究しています。作品に自分の個性をつまく表現できたらずと常に考えています。

今、備前焼の窯元や作家は四〇〇件を超えていると言われています。殆んどが個人経営なので生産量ははれていますが、一つの産地にこれだけの件数があるのは備前だけだそうです。今の時代背景を考えるとこれからはより一層努力しなければならぬと考えています。

最後に

この度、校友会岡山支部より高橋大輔選手のバンクーバー五輪銅メダル、世界選手権金メダルの記念品の制作を

依頼されました。私にとっては誠に光栄な事と思っています。ありがとうございます。

これからもより自分らしい作品を考え、多くの人に喜んで使ってもらえる作品を作るよう努力したいと思っています。よろしくお願い致します。



▲高橋選手の母清登さんに記念皿を手渡す

松井 浩之(まつい・ひろゆき)

昭和37年 県指定重要無形文化財 松井與之の長男として備前市に生まれる。
昭和61年 文学部英文学科卒業。
昭和62年 京都市工業試験場修了。父の許にて修行。
以降、日本伝統工芸展、田辺美術館「茶の湯の造形展」、日本伝統工芸中国支部展、岡山県美術展覧会などで入選、入賞。岡山高島屋、米子高島屋などで個展。
創作花器を中心に使いやすい食器など現代の生活様式にマッチした作品を手がけています。

確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！

2011スプリングフェスティバル

4月3日(日) 千里山キャンパスで開催

「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」をスローガンに開催される校友と家族、教職員とOBに現役学生も含めたオール関大人の春のイベント「スプリングフェスティバル」校の母校によつと「デー」は、大学の全面的な協力を得て、今年も4月3日の日曜日、千里山キャンパスで開催する。

総合図書館前のテントブースでは、恒例の物産展やガレージセール・餅つき大会をはじめ、各組織の協力により様々なイベントが企画されている。また、悠久の庭の「野点会場」では、茶道部学生がお点前で参加者を歓迎、「俳句コーナー」では、「自慢の俳句を投句して景品をゲットしよう」と春の俳句大賞を募集。さらに凧風館1階の特設ステージでは、昨年に続き11時から1時間、落語大学の学生による「さくら寄席」が開催される。

さあ、4月3日は校の母校で、「確かめよう青春！深めよう友情！高めよう母校愛！」なお、校友会受付テントでは、当日の催し内容とキャンパスマップを掲載した「プログラム」を配布しています。まず受付テントにお越しください。

開催日時 平成23年4月3日(日) 午前10時～午後3時

(時間内にし自由に来学ください)

開催場所 関西大学千里山キャンパス

(阪急千里線「関大前」駅下車) (駐車場はありませんので、電車を「利用ください」)

凧風館1階ロビーで「さくら寄席」を開催

今年も「春の俳句大賞」を募集！

行事

* 歓迎セレモニー (千里山中
央グラウンド) 13時～14時

……午後1時から歓迎セレモ
ニーが行われる。校友会長、
理事長、学長の校友を歓迎す
る挨拶に続いて、「応援団など

現役学生による演舞・演奏が
華やかに繰り広げられます。

* 落語公演「さくら寄席」(凧
風館1階ロビー) 11時～12
時)……特設ステージを設け、

落語大学の学生による「さく
ら寄席」を特別公演。落大生
たちの明るく楽しい寄席をお



楽しみください。

* 野点・俳句(悠久の庭) 10
時～12時半、14時～15時) :

野点会場(無料)を設営
し、茶道部現役学生がお点前
で参加者を歓迎。また、短冊
なども準備しており、桜を賞
でながら句作ができ、作品は
その場で掲示する。作品の中
から「春の俳句大賞」を選び、
入選された方には後日景品を
贈呈します。

* 校友親子の「進学相談」(新
関西大学学生会館北棟・1階ロビ
ー) 10時～15時)……「進学
相談コーナー」を設営し、教
員及び専門の職員が大学をは

じめ併設校への進学を希望す
る校友親子の相談に応じる。
親子揃ってお気軽に相談くだ
さい。



総合図書館では「大坂文人の世界」展 『本山コレクションの由来』展―博物館

見学施設

* 総合図書館……1階展示室
では、春季特別展「大坂文人
の世界―江戸時代を中心に
」を開催します。

江戸時代の大坂は物流、商
業の中心地として大きく経済
が発達したが、学問や文芸の
分野においても独自の発展を
遂げ、多くの文人・学者を輩
出した。今回の特別展では、
井原西鶴の書画や、日本初の
顕微鏡観察記録と言われる中
井履軒「顕微鏡記」、実学啓蒙

書の大著である山片蟠桃『夢
の代』など、江戸時代を中心
とした大坂にゆかりのある文
人・学者に関わる資料を図書
館蔵書の中から展示する。

* 博物館(簡文館内)……春
季企画展は、「関西大学博物
館蔵 本山コレクションの由
来」を開催する。本山コレク
ションは、重要文化財16点、重
要美術品12点を含む約2万点
の考古資料からなり、収蔵品
の中核をなす。今回は木村蒹
葭堂が所有していた鍬形石や
日本初の博覧会「大学南校物



年史資料展示室では『久井忠雄没後20年記念展』

★年史資料展示室（簡文館内）……23年度企画展「目はなすな 手をはなせ」久井忠雄没後20年記念展」を開催する。昭和27年から専務理事として、昭和38年から理事長として母校関西大学のみならず全国私立大学の発展に尽力された久井忠雄先生が、平成3年8月24日に亡くなつて今年にはちょうど20年を数える。恩師岩崎卯一先生の「山上の垂訓」を胸に、約40年にわたり本学の充実発展と私学の発展に生きた久井忠雄元理事長の事跡と人間像を思い出す品々と写真パネルで描く。

★高松塚古墳壁画再現展示室（簡文館横）……平成20年3月に美術陶板を使って発見当時の写真から高松塚古墳の極彩色の壁画を再現する展示施設、高松塚古墳壁画再現展示

産会」出品考古資料、藤井寺市国府遺跡発掘の縄文時代人骨と耳飾など、注目される資料の学史的意味をとりあげ、コレクションの形成過程を読み解く。併せて本山コレクションを本学にもたらした末永雅雄名誉教授と本山彦一翁のエピソードも紹介する。

室」が設置された。

★豊臣期大坂図屏風復元陶板（第1学舎1号館内）……堺の宿院から住吉、天王寺、大坂を経て宇治の平等院までを描いており、壁画の大半を大坂城の本丸・二の丸・三の丸が占め、望楼型の天守閣と桜門の付いた極楽橋は、豊臣最盛期の大坂城を髣髴させる。



食事・弁当・飲料

類例の少ない豊臣時代の大坂を描いた貴重な作品。なお、第2学舎2号館には天神祭・奉拝船「関大丸」をモチーフにした「関西大学・天神祭」の饅頭の陶板が飾られている。

★生協本部食堂……凜風館2階のダイニングホールディノア（生協本部食堂）では、和定食・洋定食・麺類・丼物をはじめ子供向けメニューも用意しています。また、教室等で総会・懇親会を開催の場合は、弁当（お茶付・1000円）やパーティ用特別料理・飲物の予約もできます。関大生協飲食事業部（電話06-6368-7531）まで直接申し込めます。

★レストラン紫紺……100周年記念会館のレストラン紫紺では、喫茶・軽食の営業、記念会館見学のあと、ゆっくり寛げます。

★生協テント……総合図書館前の生協テ



ントでは、弁当・缶ビール・缶ジュースのほか、関大関係書籍や記念品にもなる「校章入り瓦せんべい」やシャツなど関大オリジナルグッズを販売しています。なお、学内では桜の下などでの宴席は禁止されています。くれぐれもご遠慮下さいますようお願いいたします。

お問い合わせ

関西大学校友会事務局まで（電話06-6368-0414）

関西大学生協グループ

あなたも自動車保険を節約できるチャンスです。

まずは、お見積から。

そんぽ24 自動車保険

インターネットから <http://www.union-sv.com/car>

または 0120-24-3724（代理店コード2470213）。

総合保険代理店

Risk Consultant & Financial Planner
株式会社 ユニオンサービス

info@union-sv.com <http://www.union-sv.com>

本社 豊中市新千里北町2-20-8 関西大学支店 吹田市千里山東3-10-1 関西大学生協本部内 TEL 0120-505-421

スプリング・総会等開催団体一覧

各団体とも初参加や

家族連れ参加を歓迎

2月末日現在、スプリングフェスティバルに合わせ総会・懇親会等を開催の団体は次のとおり。

掲載は、団体催名・集合時間・集合場所・連絡先の順

(連絡先の電話番号は校友会事務局06-6368-0044までお問い合わせ下さい)。

▼橋本支部物産展 10時・総合図書館前テント、連〃橋本市役所教育委員会教育総務課・坂本安弘

▼淡路支部母校訪問ツアー・懇親会 バスで来学、第2学舎2号館C507教室、連〃ひまわりファイナンシャルプランニング・田村朋宏

▼尼崎支部家族懇親会(催事) 10時・総合図書館前テント、連〃佐藤泰秀

▼川西支部拡大役員会 11時・2学舎ゼミ棟B306教室、連〃あさの文具・浅野洋一

▼熊取支部懇親会 第2学舎2号館C505教室、連〃松波敬一

▼吹田支部婦人部・青年部ガレッジセール 10時・総合図書館前テント、連〃小西節子・渡辺善孝(同テント横で

吹田市行政相談開催)

▼吹田支部懇親会 正午・第2学舎2号館C402教室、連〃谷康司

▼堺支部「懇親会」 11時半・第2学舎1号館A309教室、連〃鍋島均

▼豊中支部懇親会 11時・第2学舎ゼミ棟B206教室、連〃横畠正秀

▼城東・旭・鶴見3支部合同お楽しみ会 10時・第1学舎1号館A502教室、連〃迫匡

▼大阪中央支部家族懇親会 12時・第2学舎ゼミ棟B203教室、連〃伊藤晃充

▼西成支部懇談会 第2学舎ゼミ棟B201教室、連〃花岡宏

▼西淀川支部催事 10時・総合図書館前テント、連〃河野賢治

▼平野支部観桜会 11時・第2学舎ゼミ棟B302教室、連〃田中義信法律事務所・田中義信

▼東淀川支部懇親会 10時・第2学舎ゼミ棟B304教室、連〃岡田美由記

▼JR関大会総会 11時・第1学舎1号館A501教室、連〃三宅順

▼関西大学臨床心理士会総

会・研修会 10時・第2学舎2号館C304教室、連〃関西大学心理相談室

▼会計人会懇親会 11時・第2学舎2号館C302教室、連〃古淵税理士事務所・古淵孝仁

▼司法書士関大会懇親会 11時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室(2)、連〃中村司法書士事務所・中村博

▼社会保険労務士関大会懇親会 10時・第2学舎1号館A502教室、連〃永盛労務事務所・永盛啓司

▼マスコミ人会総会 11時・第2学舎2号館C303教室、連〃大学広報課長・中川雄弘

▼経済人クラブ懇親会 11時・第2学舎2号館C404教室、連〃田合邦臣

▼予科撩爛会総会 11時・第2学舎2号館C201教室、連〃東浦栄一

▼第一新生会懇親会 11時・第2学舎2号館C206教室、連〃篠原昭三

▼学部27年会家族懇親会 11時・第2学舎2号館C205教室、連〃畑下公認会計士事務所・畑下辰典

▼二九千里会懇親会 11時・100周年記念会館レストラン紫紺、連〃水野富蔵

▼一高同窓会餅つき大会 9時半・第2学舎ゼミ棟横特設

テント、同役員会 9時半・第2学舎ゼミ棟B205教室、連〃長しづお

▼関西大学金曜会 11時・第2学舎2号館C501教室、連〃今井康雄

▼社会学部同窓会「社会学よつといで」 10時・第2学舎1号館A304教室、連〃中村仁

▼応援団OB千成会幹事会 11時・第2学舎1号館A501教室、連〃田中正喜

▼応援団OB長柄会懇親会 11時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室(2)、連〃中村司法書士事務所・中村博

▼スポーツマンクラブ懇親会 11時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室(2)

▼天六同友会懇親会 11時・第2学舎ゼミ棟B301教室、連〃寺岡源司

▼華文会親睦会 11時・第2学舎1号館A308教室、連〃三坂友章

▼女子秀麗会幹事会 12時・第2学舎ゼミ棟B202教室(10時より総合図書館前テントで喫茶とバザー開催)、連〃仁井ひろみ

▼秀麗寮士会春の集い 11時・第2学舎1号館A305教室、連〃市場康雄

▼長砂ゼミ長友会総会 10時半・100周年記念会館・サロン桃源、連〃鍋島均

TEL.06-6644-0010 (代) FAX.06-6644-0011







ホームページ最新ニュース(What's New)毎日更新

jiron で 検索









ジロン自動車株式会社

昭和37年 商学部卒 会長 吉田 尚司

TEL.06-6644-0010 (代) FAX.06-6644-0011

〒556-0001 大阪市浪速区下寺3-8-5 □日曜・祝日も営業致しております。 □営業時間 日・祝10:00~19:00 平日9:00~19:00 □年中無休

厳しく温かく母校を見つめ支援を

250余人集い校友会新年互礼会

平成23年校友会新年互礼会が、1月15日午後6時から大阪新阪急ホテルで開催された。理事長、学長をはじめ大学関係者、校友の首長、議員、地域支部や職域会の代表などと、昨年を上回る257人が集い、創立125周年を迎える母校のますますの充実・発展を祈念し、元気な校友会として活動の促進を誓い、お互いに懇親を深めあった。

司会進行は大東恭治、仁井ひろみの両総務副部長が務め、開会の言葉を田中義昭副会長が述べた。応援団第89代団長・富田龍郎君のリードで学歌を斉唱したのち、校友会長の挨拶があった。

「熟慮実行」を基に、厳しくかつ温かい目で母校を見て、母校のために何ができるかを考え、校友の皆さまと共に躍進する大学を支援していきたい」と校友会の姿勢を強調した。来賓紹介に続いて、上原洋允理事長は「母校の発展を祝っていただけのことではありがたい。物心両面の援助にも感謝している。大学は、教育・研究、社会連携、国際活動などを推進しているが、特に国際化については、本日、留学希望の外国人が学ぶ教育施設と留学生宿舎の複合施設・南千

寺内俊太郎会長は「関西大学は、高槻と堺に新たなキャンパスを設置して21世紀型総合学園として大きく躍進する2010プロジェクトが昨年完成した。ソフト面での更なる充実を図り、世界に羽ばたこうとしており、心強く、誇りに思う。強い関西大学を支える元気な校友会として、「総力結集」「創意工夫」



- ▼鉄川謝交会総会 11時・第2学舎ゼミ棟B303教室、連〓浅田育孝
- ▼国文67同窓会 10時・悠久の庭・俳句コーナー、連〓井上哲夫
- ▼四ツ葉会（工応化48年卒同窓会） 11時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室A、連〓山本隆章
- ▼雄弁会OB会 11時・第2学舎2号館C502教室、連〓石割信雄
- ▼新聞会OB会懇親会 11時・第2学舎2号館C207教室、連〓片岡博巳
- ▼アメリカンフットボール部OB会総会 11時・第1学舎1号館A503教室、連〓渡邊泰之
- ▼サッカー部OB会総会 11時・第2学舎1号館A310教室、連〓佐藤弘一
- ▼バスケットボール部OB会総会 11時・第2学舎2号館C202教室、連〓財前英司
- ▼テニス部「自調会」 正午・第2学舎2号館C401教室、連〓坂井幸司
- ▼ハンドボール部OB会総会 11時・第2学舎1号館A301教室、連〓植中健登
- ▼ヨット部OB会総会 10時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室（4）、連〓横山隆太
- ▼ラグビー部OB会総会 第2学舎2号館C204教室、連〓北村潤
- ▼レスリング部OB会懇親会 11時・第2学舎2号館C403教室、連〓比与森正志
- ▼千里山法律学会OB現役懇談会 11時・第2学舎2号館C506教室、連〓千里山法律学会・逢澤
- ▼書道部OB会総会 12時・第2学舎1号館A503教室、連〓書道部・藤田絹子
- ▼速記部OB会総会・現役交流会 10時・第2学舎1号館A307教室、連〓坪井恭一
- ▼ユネスコ研究部OB会懇親会 11時・第2学舎2号館C203教室、連〓藤本商事・藤本正知
- ▼ESS（英語研究会） 11時・第1学舎1号館A602教室、連〓榊田一雄
- ▼奇術研究部OB会 11時・第2学舎1号館A302教室、連〓温井康之
- ▼経済研究部OB会懇親会 10時・第2学舎ゼミ棟B305教室、連〓矢崎賢司
- ▼證志会懇親会 11時・第2学舎2号館C503教室、連〓重田守康
- ▼交響楽団OB・OG会総会・親睦会 11時・第2学舎1号館A303教室、連〓谷口真人
- ▼美術部白鷺会OB会 11時・第2学舎2号館C301教室、連〓道前博
- ▼混声合唱団ひびきOB総会 10時半・第1学舎1号館A603教室、連〓向井孝之（hibiki.ob@yao.co.jp）
- ▼コールドテニカOB会催事 10時・総合図書館前テント、連〓内原裕一郎
- ▼自動車工学研究会OB会 10時・第1学舎1号館A504教室、連〓黒田高之
- ▼児童文化研究会OB会 10時・第1学舎1号館A201教室、連〓佐渡達史
- ▼民謡研究会（フオークソング同好会）OB会 12時・第2学舎ゼミ棟B401教室、連〓大村裕美
- ▼ユースホステルクラブOB・OG会 11時・第1学舎1号館実験学習・語学系教室（1）、連〓市山二郎（jiro23may@theia.ocn.ne.jp）
- ▼風土研究会OB会総会 11時・第2学舎ゼミ棟B204教室、連〓阪上敏郎（tsukaue@oyo.co.jp）
- ▼古寺探訪同好会OB会 13時半・第1学舎1号館A401教室、連〓菰渕英夫
- ▼関西大学プレイボーイクラブ 11時・第2学舎2号館C504教室、連〓東新産業・川島経正
- ▼小林下宿同窓会 11時・第1学舎1号館A601教室、連〓若泉喜則

里国際プラザの起工式を行った。来年2月には建物が完成する。また、2010年プロジェクトが昨年4月に花が咲き、上々の滑り出しを見せている。関大の併設校の気持ちは高く、競争率も上がっている。大学も日経進学ナビの志望大学ランキングで西日本1位を

獲得した。今後も努力を怠らず、学部・大学院の改革を進め、教職員の熱意で日本で10番以内、さらに5番以内の大学にしていきたい」と新年の抱負を語った。

楠見晴重学長は「12月11日に日本私学連盟の男女共同参画に関するシンポジウムでパ

ネルディスカッションのパネラーに呼ばれた。この10年で、女性の教員が3倍以上に増えたことで指名されたようだ。現在、関西大学の学生数は約3万人。うち4割1万1600人が女子学生である。学業成績も良く、卒業式の総代も女子学生が多い。また課外活

第27回支部対抗親睦ゴルフ大会

5月24日(火)に天野山CCで開催

支部相互の親睦と校友の親睦を図る催しの一つとして、第27回支部対抗親睦ゴルフ大会を、5月24日(火)に、本年は会場を変更して天野山カントリークラブ(36ホール)で開催します。新緑さわやかな好季節に、日ごろ鍛えた腕前を存分に発揮していただき、校友会長杯(団体戦)、理事長杯(個人戦)をめざして、楽しくプレーしてください。なお、知り合いの方も誘いのうえ、多くの校友の皆さまの参加をお待ちしています。



日時 5月24日(火)
場所 天野山カントリークラブ(堺市南区別所1549-46 ☎072-2841919)
競技方法 18ホールストロークプレー(70歳以上および女性は「ゴールド」以外、白ティからプレー、6インチリプレースコ、ローカルルール適用)、ダブルベリア方式を採用(競技委員長・ゴルフ場支配人一任)

表彰 団体戦「上位5位まで入賞(各支部上位4人のネット合計で決定)」「個人戦」上位10位まで入賞。10位単位飛賞あり。

表彰式 競技終了後、クラブハウスのレストランで成績発表、表彰式、懇親会を行います。ぜひ表彰式までご出席ください。

参加費 6000円(ゴルフ場での支払い)は各自負担。プレーフィはキャディ付き税込1万3500円(1ドリンク・昼食付)。但し懇親会での酒類は各自負担。全員に参加賞あり。

申込方法 1支部4人以上(4人に満たない場合は個人戦のみ)、先着200人。定員になり次第締切。最終は4月20日(水)参加申し込みをされた方には、5月中旬に実施要項、組み合わせ表等をお送りします。

参加ご希望の方は、所属地域支部、氏名、卒業年・学部、住所、電話、生年月日を明記の上、郵送かFAX(06-6380-8476)にて、またはe-mail: honda@jim.kansai-u.ac.jp、お早めにお申し込みください。

個人での参加も歓迎します。

問い合わせ等は、校友会事務局(06-6368-0041、44)まで



動でも女性の活躍が目立っている。校友会でもOGに役員に入ってもらうなど、現在の大学の状況を反映していただきたい」と述べた。

増地英一常務理事が乾杯の挨拶と発声を行い、懇親会に移った。応援団奏楽部の演奏・演奏が会場を盛り上げ、しばし歓談。逍遙歌を合唱したあと、水本徹教育後援会会長が大阪締めを行い、石井國男副会長の閉会の言葉で盛会裏に閉宴となった。

【訂正】前号(第561号)「葦の雫」で、日野原重明先生の生年を明治11年と記載しましたが明治44年の誤りでした。また、楠見学長年頭挨拶の下、関西大学の役職者一覧で「先端科学技術推進機構長」とすべきところを「最先端科学」と誤記しました。お詫びし、訂正します。



毎日

スタート&ダッシュ

あらゆる印刷に、全速・全力でお応えします。

お客様のご要望にお応えすべく、確かな技術の中から最適のご提案をすることで事業のお役に立つ。お届けするのは、印刷ソリューション。そのために、情報も対応も、より速く的確に。いつも全力で、毎日スタート&ダッシュ! 私たちは東洋紙業です。

印刷で人と時代をコミュニケーションする

東洋紙業株式会社

大阪本社: ☎556-8555 大阪市浪速区芦原1-3-18 ☎(06)6567-2111
東京本社: ☎140-8670 東京都品川区南品川6-1-5 ☎(03)3450-2111

www.toyo-s.co.jp

関大から世界へ

校友会の海外ネットワークについて情報提供のお願い

校友会では海外の同窓会組織や校友動向の情報提供を呼びかけています。

現在、韓国、台湾、上海、タイ、マレーシア、シンガポールなどに校友会組織があり、ほかにもロサンゼルス、ハワイ、バンクーバーなど各地域で校友の親睦・交流を深めておられます。他の海外地域におきましても、校友や大学関係者が集い、懇親会など開催されている組織、またご活躍されている校友の情報などございましたら、ぜひ校友会までご一報くださいますようお願いいたします。ホームページや機関紙『関大』に記事を掲載するなど、連絡を密にしながらネットワークの構築をすすめてまいりたいと思います。

また、海外の校友会組織への連絡については、校友会事務局までお問い合わせください。

～海外の校友会から～

香港千里会

関西大学香港千里会は、香港・華南地区における校友間のより深い親睦を図るため、鋭意活動中です。現在は年に数回、香港各所にて会合を行っております。

また、不定期ながら華南地区にて関関同立合同イベントなどもごぞいます。香港および華南地区に在住・駐在の方、また留学帰国者の方、同じ学び舎にて学生時代を送った、というかけがえのない共通点のもとに校友の輪を広げませんか？

また、周囲に華南地区に縁のある校友がおられましたら、ぜひ香港千里会についてもお知らせいただけましたら幸いです。

ご連絡は 水野 文子(国94-117)まで
(+852)6333-2122
hkсенrikai@gmail.com



TOPICS

第17回海外研修のお知らせ 「台湾同窓との交歓の旅」

実施予定日
平成23年9月23日(金)～25日(日)

校友会では、本年度の事業のひとつとして、上記日程で、第17回海外研修「台湾同窓との交歓の旅」を実施予定しています。

詳しい内容は、決定次第、機関紙「関大」または校友会ホームページにてご案内いたします。



世界で活躍する校友を訪ねて

泰国千里会(バンコク) 平成20年8月18日～22日
タイ・日本国際シンポジウム「物質工学と環境工学の新しい展開」に参加。



カナダ・バンクーバー 平成22年2月9日～14日
オリンピック応援とカナダBCU表敬訪問。



ハワイ・ホノルル 平成20年11月2日～7日
第16回海外研修を実施。



上海関大会 平成22年6月26日～27日
「上海万博と大阪の経済発展」をテーマに「第1回復旦大学・関西大学経済フォーラム」が、上海において開催された。



ロサンゼルス 平成21年8月23日～
米国ロサンゼルスでの初めての国際インターンシップ。在住校友が交流会で参加学生を歓迎。



台湾関大会(台北) 平成22年8月23日～26日
関大・正修科技大学「理工学国際シンポジウム」に参加。



北から 南から 《各地支部だより》

活性化のなか創立30周年を祝う

神田支部長ほか新体制がスタート

千葉支部（杉原賦彦支部長）の支部創立30周年記念・平成23年新春総会は、2月5日に来賓として日根直人代議員会議長・首都圏支部連合会名誉会長、古川好男副会長ほか首都圏各支部長ら迎えて市川市のサンシティで開催された。

便りの発行などPRに努めた結果、30周年に相応しく今回は50人近い参加申し込みがあり、女性校友も2人参加を得られるようになったなど支部活動の活性化が報告された。

第1部総会では杉原支部長（昭39法）から2期4年を「知っていただく支部活動」のスローガンの下、関大誌への投稿・支部

続いて、当支部創立者であり、初代支部長の日根氏から支部創立時の苦労話や支部が熟年化していると言及のある激励をいただいた。古川副会長から「強い関西大学を支える元気な校友会」の会是の下、地域社会に貢献する活動や、受験者状況からみた高い人気度など心強いお話を、東郷事務局長から国際プラザ・海外オフィスの設置など母校の国際化推進の様子が報告された。石山東京センター長からは、東京センター内に校友の利用できるクラブが設置されると発表があった。ここで松岡寛氏（昭34文）から当支部創立当時の新聞コピーが配布され、創立の意気込みと共に創立日（12月12日）が判明し記念総会



に花を添えた。

議事の役員改選では、神田万久支部長（昭45工）ほか新役員が満場一致で選出され、杉原前支部長に花束が贈られ労をねぎらった後、神田新支部長から力強い就任挨拶がなされた。同好会活動の報告では、ゴルフ同好会前川義男幹事（昭40商）から、女性の参加も得たコンペの実施報告と、コンペを年2回から3回に増やすので更なる参加をと呼びかけがなされた。写真同好会江口昌成幹事（昭39工）からは今後「風景と温泉を楽しむ会」と改称して写真愛好者だけでなく旅行や温泉を楽しむ校友の参加を得て交流を深めたいと呼びかけがなされた。

30周年記念のメインイベント、木原國夫東京洋書（株）会長（昭31法）の「私の履歴書」と題した講演へと移った。「今を凌ぐなべ底景気の就職難の中で社会人としての第1歩をスタートした。転職を重ねる苦労の中で努力と工夫により、商売・経営のノウハウを習得、また人縁・人脈を築いた。いよいよ独立し、現在の会社を起業・発展させた。今があるのは人の温かさ」と努力の結果である。今は音楽活動を通じてボランティア活動に生きがいを感じている」と話された。これらの話に参加者は強い感銘を得、現在就活中の学生

にも聞いて欲しいとの声も聞かれた。

第2部懇親会では、大澤基宏氏（昭36法）の発声で乾杯、ディナーを味わいながら懇親が深められた。この中で急遽「7光会」が組成され、記念撮影に思わず目を覆う一場面が現出した。お待ちかねのくじ引きへと移り、1等は任天堂ゲーム機「Wii」、その他高級賞品が続ぎ、当選者は孫や家族への土産ができたところ。

その後、初参加者の紹介へと続いたが、あまりの盛り上がりで予定していたカラオケタイムは時間切れで残念ながら中止となった。懇親会では道達歌を高唱し、終宴となったが、今年もここで終わるはずがなく恒例の2次会へ繰り出した。30周年記念でもあり貸切の会場・家庭料理店「舞堵」（店主坂本行秀校友・昭41法）は、日根初代支部長や女性校友の参加もあり超満員となり、さらに親睦を深める中に夜も更けていった。

（広報担当 池田光夫）
（アイズ・オブ・マインド 03-3662-7710）

来賓含め33人が参加

総会以外の事業も準備中

沖縄支部（田中順一支部長）では、22年度総会を那覇市の沖縄ホテルで11月22日に開催し



た。大学・校友会から楠見学長、森本理事・相談役、古川副会長ら4人、沖縄支部運営を長く支援いただいている白木福岡千里会会長、元沖縄支部会員で今は鳥取支部所属の小椋さんのご参加をいただき、総勢33人の出席者で楽しいひと時を共有することができた。

今回の総会では、田中支部長になって初めての総会だったが、なるべく沢山の校友に参加してもらい活性化していきたいという想いの下に、役員がミーティングを重ねて準備した。

校友の家族も楽しく参加してもらえよう企画した「くじ引き」などのアトラクションには、来賓の皆さんにも一緒に参加いただいた。大変盛り上がった。



**女性含む数人が初参加
組織強化の取組み決定**

北海道支部（木村勇市支部長）の有志16人による新年の親睦会が1月25日、札幌市内の居酒屋「ひだまり庭（てい）」で開催された。

冒頭、木村支部長から、「今年は支部の活性化のために組織の強化をはかり、幅広く会員に参加を求めたい」との決意表明があり全員の賛同を得た。

大坊健二氏の乾杯の挨拶を皮

沖縄県出身者が毎年4～5人卒業している、若い校友にもどんどん参加してもらい、人脈のつながりを広げていくために、今後は総会以外のイベントもいろいろと準備中です。

（幹事 根橋弘行）
（南西環境研究所・田中順一）
098-835-8411

**新年会に過去最高の出席者
大仲検事正が興味深い講演**

岡山支部（行本章允支部長）の第54回新年会が、1月16日に岡山アークホテルで開かれた。

平成卒の13人を含め女性校友8人や北九州市の今井明美さん、吹田市の谷康司さん、香川支部の川北文雄支部長らの参加もあり、岡山支部新年会としては過去最多の81人が出席し、行本章部長が挨拶して開会。

今回は、校友で岡山地方検察庁の大仲土和検事正（昭48法）が、司法修習生時代に正義を貫く検察の仕事に意気を感じて検察官を希望したことや検察庁、検察官の仕事などをわかりやすく、時にはユーモアを交えて講演。参加者は日ごろ馴染みがないだけに、興味深く、熱心に聴

切りに歓談。自己紹介のステップでも建設的な意見が続出し、各自が思う存分喋り、青木佐次郎氏の中締めで近々の再会を約束し、お開きとなった時には2時間半が経過していた。

今回は、常連参加者のほか数人の新規参加者があり、女性1人も加わって華やかで賑やかな会合となり、早くも次回が待ち遠しい中での散会となった。

（松本陽二）
（キムラ・木村勇市）011-721-4311

いていた。

懇親会では、お互いに酒を酌み交わしながら久しぶりに旧交を温め合い、あちこちでにぎやかな歓声や笑いが会場に響いた。このほかお楽しみ抽選会も行われ、最後に全員が肩を組み合つて逍遙歌を声高らかに歌い、再会を約してお開きとなった。

この日は、新年会に先立って岡山金陵CCで20人が参加し第50回親睦ゴルフ大会、両備ボウルでは11人が参加して第15回親睦ボウリング大会も開催された。

なお今年の総会は、7月3日（日）昼に岡山アークホテルで実施する予定。（村木弘文）
（ユアーズコンサルティング）
付086-250-5592



**校友の発掘と親睦を
年会費制と広報活動で**

島根県支部松江千里会（岸宏



会長）総会並びに懇親会が2月4日、松江市千鳥町ホテル白鳥で盛大に開催された。

全員で学歌斉唱の後、岸会長（昭41経）の挨拶があり、現役員の留任と「強い関心」を目標とするための組織強化の一環として年会費制の導入と広報活動を通じた新たな校友の発掘と親交を深めることを満場一致で採択した。

続いて、神庭民生副会長（昭42経）の冒頭で乾杯し、予定の2時間があつというまに過ぎた。最後に大西弘悦幹事長（昭45法）の乱舞で逍遙歌を合唱し開会となった。（大西弘悦）
（大西弘悦）0852-23-1081

**曹洞宗の古刹を散策
1組の親子3組の夫婦も**

神奈川支部（重延義樹支部長）では、11月28日に小田原大雄山最乗寺散策を1組の親子と



3組のご夫婦を含む総勢27人で実施した。

当日は、11月末とは思えない暖かさで散策中は汗ばむほどの陽気となった。

曹洞宗の古刹で600年以上の歴史を誇る霊場として知られる最乗寺境内を、小田原在住の熊田侃夫先輩（昭32商）の知人であるお坊さんに案内していただき、内容の深い散策となった。最乗寺の歴史や一つひとつの建造物の説明を受けたあと、ちょうど当日まで御真殿のご開帳が行われていたので、通常なら入ることができない内部の仏像まで目の当たりにできて誠に幸運であった。

昼食会場では、いつもながらの和気藹々とした雰囲気なのか、先輩後輩が一つになって盛り上がり、2月26日の神奈川支部総会での再会を約して散会し



た。
(藤原ひで子)
(ダイケイ気付) 050-11063-9660
来年は倍増の参加者を渡邊組織部長の示唆で
1月23日午後1時から静岡ターミナルホテルで創立6回目の静岡支部(大石祐介支部長)総会を開催した。
参加者は、本部の渡邊組織部長らを含め10人と少し寂しい集まりだったが、学歌斉唱のあと活動報告・決算報告を承認した。
第2部懇親会は、渡邊組織部長の組織活性化についての組織部長としての示唆に富んだ話で盛り上がり、参加者一同、来年は倍以上の参加者にとしようと決意を新たにした。その後各自の自己紹介や近況報告を行い、逍遙歌を合唱して散会した。
(幹事長 山口健一)



(山口健一) 054-245-2835
実行副委員長を5人選出
来年の創設百周年に向け
愛知支部(森田敏三支部長)忘年会が12月16日、19人が参加してロイヤルパークイン名古屋で開催された。
森田支部長の挨拶の後、前支部長で顧問の岩瀬弥三郎先輩(昭28商)の力強い乾杯の音頭で宴に入り、お互いの親睦を深めあった。
愛知支部は、2012年に100周年を迎えるため、実行委員長の杉本秋男氏(昭48院修商)から副委員長に斉藤克己(昭42商)、塗木佳子(昭41文)、西川正(昭45経)、山田亮治(平10社)、富田健嗣(平10社)の5氏の推薦があり、満場一致で選出された。
今回初参加の矢田睦(昭62社)、大西慶太郎(昭31商)の2人から今後支部行事に積極的に参加するという力強いスピーチがあり、法本英明氏(昭32商)の学生時代の野球談議に熱心に聞き入った。カラオケで楽しい時間を過ごした後、会沢先輩(昭29法)の中締め、藤村務先輩(昭31商)の閉会の挨拶で次回の再会を楽しみにお開きとなった。
(幹事長 原 勝也)
(知多工業・森田敏三) 0562-335822

嵐山周辺の耳寄り情報
地元の古川区長も参加
京都支部(牧村史朗支部長)洛西ブロックの懇親会が12月4日、紅葉賑わう嵐山の名門料亭・渡月亭で33人が参加して開催された。萬治亮三氏(昭42工)の司会で始まり、牧村支部長(昭32法)の挨拶、顧問の酒田清光氏(昭28経)の乾杯の音頭のあと美酒に酔いながら懇親を深めた。
今回初参加の京都府警右京警察署長の松本明弘氏(昭53社)が紹介され、自宅は高槻市だが単身赴任で警察署内の官舎で暮らしている。深夜のパトカーのサイレンでいつも目が覚める、という話は、署長も楽ではないという点で興味深いものだった。



また、右京警察管内は京都府で2番目に犯罪が多いということも意外な情報であった。
右京区交通安全協会の会長を務める渡月亭の社長古川隆三氏(昭30文)も管内の交通安全に役買っているとのことであった。当日は地元の京都市西京区長である古川幸隆氏(昭50商)も参加され、嵐山周辺の耳寄り情報を知ることができた。
(吉川 勲) 昭58工金
(大西康治) 075-691-3515
前進座の観劇と俳優との交流会
京都支部(牧村史朗支部長)では1月19日、前進座の芝居を見に6人で南座へ行った。観劇が始まる前に俳優の益城さん(座で10指に入る)から楽屋やか

ビルメンテナンス業界初のISO-9001, ISO-14001, OHSAS-18001 三規格認証取得企業として、「作業品質&マナー」・「環境」・「安全」の向上を通じ、オーナー様・ユーザー様からの信頼に応えます。

株式会社 大阪ビルサービス

〒540-0012 大阪市中央区谷町二丁目4-5 Tel 06(6941)3306 E-Mail info@obsf.co.jp



ISO-9001



ISO-14001



OHSAS-18001





(副支部長 井口俊博)

つら室、舞台などすべてをこと細かく案内していただいた。
7代目嵐芳三郎襲名披露口上のおと、芝居は通し狂言「切られお富 処女脱走名横櫓」で春日八郎のヒット作「お富さん」で知られた粋な黒塚、見越しの松の源氏店の場面ではなく、不義を働いたお富が殺されそうになったのち、殺そうとした問屋の旦那からゆすり騙り200両をまき上げ、その金を与三郎に渡すという筋でお富の魅力をたっぷり描き、面白く拝見させていただきました。

終演後場所を祇園に移し(途中参加1名)、益城さんを挟んで酒を酌みあい個人的なことから前進座の話を一時間半聞かせてもらった。俳優とは思えないくらいい本当に気さくな方で楽しいひと時だった。土産に前進座オリジナル手拭いもいただいた。

約100人で新春祝う 「明るい神戸」を共感

神戸支部(齋藤富雄支部長)は、1月29日午後4時から神戸東急インで新年互礼会を開催した。例年の平日夜開催から若手・女性の参加しやすい土曜夕方(初試行に神戸在住または勤務する昭27卒から平22卒の幅広い校友100人近くが出席し、「強い関大、元気な校友会、明るい神戸」を共感した懇親会となった。

司会進行は、神戸平成倶楽部の世話人である上野真衣常任幹事(平19法)、木村英明幹事(平17商、大和ハウス工業)が務め、開会のことは神戸市役所関大倶楽部会長の深尾秀和副支部長(昭50法・神戸市会計管理者)が「足が速くて躍動感がある干支のうさぎにならうてきたい」と述べた。

学歌を応援団第89代富田龍郎団長の指揮により斉唱したのち支部長挨拶があった。齋藤支部長(昭44法・兵庫県国際交流協会理事長)は、社会、政治、経済は元気がない中、関大は強く元気で人気」と強調した。

神戸市長である矢田立郎顧問(昭46法)が「今年は、明るい」を抱いていく。11月に神戸マラソン開催をする」と乾杯の挨拶と発声を行い、懇親会に移った。



終始和やかな雰囲気はあつという間に過ぎた。渡邊泰之副支部長(昭42法)の開会のことはのあと、逍遙歌を合唱して新春の宴を終えた。神戸支部では23年度総会を6月17日(金)午後6時半からホテルオークラ神戸で企画している。

(副幹事長 今中寛(平9商))
東光商会気付「FAX 078-453-2171
ku1886@nifty.com
http://www2.kandai-koyukai.com/al/kobe/

冬の懇親会に22人参加 矢田神戸市長も駆けつけ

関大神戸平成倶楽部(山本智子代表)冬の懇親会(第15回)は、12月4日に神戸東急インで開催され、爽やかな神戸の平成卒メンバー22人が集った。

挨拶に立った齋藤支部長は「関大、神戸の縁(えにし)を大切に」。続いて山本代表(平8



社)の乾杯でオープニング。また公務お忙しい中、矢田立郎神戸市長に駆けつけていただき、16回目を迎えた神戸ルミナリエ、ウィッセル神戸の活躍をはじめとする元気な神戸のお話をいただいた。

司会は大和ハウスの木村英明(平17商)と法律事務所の上野真衣(平19法)が愉快に進行。初参加に川辺久美子(平9法)、高嶋沢美(平8商)、松田隆司(平17商)、中井次郎(平6社)を迎えた。

直後に、当日開催のアメフト関大VS関学の速報が入り、関大勝利の最速事に会場は一段と熱気が上昇。自己紹介や楽しい話を税理士の太田慎二(平3法)、農業の梶成良(平7文)、木戸美智子(平7社)、体育会ラグビー部OB・ブルデンシャル生命保険の黒田克人(平3商)、フラワーアートの小林泰代

関西大学・教育後援会・千寿会・一高・一中・幼稚園ご下命店
学・校章型著(上)用)謹製

厚生大臣賞受賞
日本食品衛生協会賞受賞

和洋菓子司
株式会社 昌月堂

〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目13番28号
電話(06)6641-1666(代) (06)6641-6565(代)
FAX(06)6647-6478・(06)7662-6550
代表取締役 山本 雅己(S53学1法卒)

(平5経)、西嶋育代(平18経)、藤田征嗣(平8院商)、山本賢一(平4商)、当日の企画をした今中寛(平9商)らが繰り広げた。

次回は7月9日(土)午後6時30分から三宮駅ビル屋上のハインケンビアテラスで夏の懇親会(第16回)を企画している。神戸平成倶楽部の企画活動には神戸支部より助成を受けて、活性化につながっています。

(平18経 西嶋育代)

叙勲受章2氏の御祝 懇親会で経験談聞く

22年秋の叙勲において、尼崎



支部（大角教雄支部長）役員の伊吹昭氏（昭31法）が調停員功労で瑞宝単光章を、片山省三氏（昭35法）が警察功労で瑞宝小綬章をそれぞれ叙勲され、12月4日、尼崎市内ホテルニューアルカイックで、支部役員有志25人で「叙勲受章お祝いの会」が開催された。

冒頭、有志を代表して大角支部長が挨拶。続いて尼崎叙勲者清風会の宮田良雄氏（元尼崎市長）と冬柴鐵三氏（元国土交通大臣）が祝辞を述べ、両氏に記念品が贈呈された。

片山氏が、「警察畑37年間、今回の叙勲は警察に対する皆さんからの感謝状と想っており、周りに感謝、誠実一路、積極先取の気持ちでこれからも分相応の貢献をして行きたい」。伊吹氏が「知り合いの弁護士さんからの依頼で始まった民事調停

の18年間で評価されたのでしょうか、高裁賞、最高裁判所長官賞に続いての受賞となりましたが、今後も皆様にご指導賜りたい。」と謝辞を述べられたあと乾杯に移った。

懇親会は、両氏から貴重な経験談やエピソードを含めた話で盛り上がり、最後に、重田守康副支部長が両氏に祝意と篤い感謝のこめられた挨拶で閉会となった。

（田中正喜）06-6499-1948
（松本勝憲）

推古天皇陵など史跡巡り 第1回歴史散歩の会開く

富田林支部（杉多弘至支部長）では、新たに発足した「歴史散歩の会」が第1回事業として南河内の史跡めぐり・パート1を企画。11月23日、校友20人が参加して太子町の飛鳥時代の王陵や日本最古の国道・竹内街道沿道の遺跡を訪ねて古代への思いを馳せた。

今回は、校友でもある太子町教育委員会文化財保護課勤務の鍋島隆宏さん（平5文）に講師をお願いし、現地案内をしていただいた。

午前10時、六枚橋を渡り竹内街道からスタート。まず国の登録文化財・大和棟、旧山本家住宅から竹内街道歴史資料館へ。ここでは街道の歴史と周辺



の遺跡を紹介、また往時の様子が伺える映像や資料が展示されていて見応えがあった。

昼食後、大化の改新の後即位し、政治の刷新を図ったと言われる「孝徳天皇陵」へ。さらに歩いて、科長神社から遣隋使として初めて長安へ渡った「小野妹子の墓」を視察。次いで珍しい双方墳の「双子塚古墳」を経て593年に即位し最初の女帝として葬られた巨大な方墳「推古天皇陵」を視察。

最後に太子町のほぼ中央の台地上にある「用明天皇陵（河内磯長原陵）」を見学。本陵は、周りに空堀を巡らし、濠外堤を含めると東西100メートルの大方墳。一角には宮内庁の出先事務所がある。

講師の鍋島氏の終始熱心な解説に参加会員一同、郷土の歴史を再認識、感謝しながら午後3時過ぎ約7キロの歴史散歩を無事終えた。（幹事長 秦 純一）
（野島 務）0721-23-3190

市民ウォーキングに参加 大和川沿いの史跡見学

東大阪支部（岩崎英夫支部長）は11月23日、東大阪市民約200人余と共にコミュニティウォーキング2010に支部有志が参加した。風は冷たいがウォーキング日和に、地元東大阪の史跡を訪ねた。

午前9時に近鉄花園駅に集合して、旧大和川の東端「吉田川」の川筋跡をたどり、堤防敷に開けた「花園商店街」、付け替え前の大和川の水上交通と生駒暗峠越奈良街道の松原宿跡、伏流水から生まれた伝統の味を伝える「星鶴醸造」、大きな港があった事を意味する「大津神社」。そして大和川付け替え事業の立役者



血糖299が2カ月で94に！ヘモグロビンA1Cも11.5が6.9に！

糖尿病に燕子掌

ヘモグロビンA1C値の改善にお役立て下さい。

「お薬、食事、運動など今まで何を試しても下がらなかったA1C値...。今回やっと下げたモノが見つかりました」と、多くの方にお喜び戴いている特許新成分です。

▼この漢方・燕子掌の詳しい資料・改善データを無料で送付いたします。

特許番号第2535674号
0120(090)358
ヘルスケア研究所

資料無料送付

燕子掌
180粒 18,900円(税込)
糖尿110番 検索

お母さまへ

**主婦がコツコツと手造りで
ご良家のご縁結びをしています。**

高槻の隣り町
島本町

TEL.075-961-7405

吉川 味与子
(関西大学卒業生の妻)



33人が出席し新年会『による』が癒しの演奏

大阪狭山支部（吉川寿一支部長）は1月29日、23年新年会を山路昌彦支部相談役経営のレス・トン・SAYAKAで、33人

「中甚兵衛」の顕彰碑のある今米公園までの5・5キロの道のりを支部旗を中心に、和気藹々と市民の中に溶け込んで、ボランティアの説明を聞きながら、ウオーキングを楽しんだ。
支部では毎年春の「市民ふれあい祭り」と秋の「コミュニケーション」に、オーキングには校友会組織の存在を市民にアピールするため支部事業の一環として参加している。（副支部長 在間 寛）
（岩崎事務所気付）072-966-0111

が出席して開催した。

返信はがきで出席返答した33人全員が1人も欠けることなく出席だった当支部の団結力に、手前味噌ではあるが感謝したい。優雅で上品な美人トリオ、ミュージック・ボックス『による』の生演奏で学歌を斉唱して開宴。3台の鍵盤楽器とメゾソプラノの歌を交えた演奏で会員同士和やかに歓談し、親交を深め、その演奏におおいに癒された。

途中、野理詔二会員の軽妙なプロの司会で、田頭巖副支部長が「マイウェイ」を熱唱、やんやの喝采を浴びた。

『による』が、宴の最後まで演奏してくれ、出席者全員肩を組み合って岡田尚明支部相談役の口上で始まる道遙歌を生演奏で歌えたことに感激、お土産もついて一同大満足の夕べであった。

（幹事長 花崎光輝）
（花崎光輝）072-366-6120

11支部から95人が集う河内近隣支部新年互礼会

河内近隣支部では、恒例の新年互礼会を1月29日、天王寺区のフエイセゲストハウス月花で開催した。

今回は、平野支部・富田林支部が当番幹事のもと、11支部から95人が参加、寺内校友会長を迎えて盛大に行われた。



寺内会長は、近年大きく進展、変貌してきた母校に対して校友として一層の支援、協力を要請。また、西野あきら・谷畑孝衆議院議員、北川イツセイ参議院議員をはじめ府議会議員、市会議員の出席をいただいた。

懇親、交歓の中、最近、活躍している河内若手会の活動状況の報告があり、次代への期待と展望の広がりに大きな拍手。

続くお楽しみ抽選会で会場も和み、盛り上がり続けた。同景品は富田林支部の北野登己郎氏（平1社・富士屋製菓本舗経営）からの提供。

（富田林支部幹事長 秦 純一）

7支部でボウリング大会団体優勝は東大阪支部

11月27日、河内地区支部対



抗ボウリング大会を八尾ボウルアロにて開催した。

当日、八尾、東大阪、平野、松原、藤井寺、河内長野、柏原の7支部42人が集合した。決戦の後、懇親会、表彰式、2次会と盛り上がり友好を温めあった。

なお、団体優勝・東大阪支部、2位・河内長野支部、3位・八尾支部。個人優勝・坂倉さん（河内長野）、2位・鎌田さん（東大阪）、3位・岩崎さん（東大阪）だった。

（松原支部長 岡野有幸）

初の親睦ボウリング大会古希会員が上位独占

本部の主催事業に刺激され、守口支部（平井治支部長）でも2月9日、守口市役所純正会の協力を得て第1回親睦ボウリ

ング大会を実施した。

参加者は26人で、うち4人が女性。会場のラウンドワン守口には、長老の葛山澄雄氏（昭21大法）をはじめ、近隣の西田一郎門真支部長夫妻らも応援に駆けつけ、盛り上がった雰囲気の中でプレーを開始した。

十数年ぶりのボウリングだという人や、ボウリングは初めてという人がほとんどであったが、ストライクやスペアが出るたびに「やったー」とはしゃぐなど、和気あいあい2ゲームのプレーを愉しんだ。

成績は、マイボールとマイシユーズを持参して参加した杉本國雄副支部長が優勝、2位に平井支部長が入り、2人の古希会員が上位を独占した。

（昭41法・山本 護）
（シノハラ・篠原勝）06-6998-5115



48人参加し6年ぶりの総会

新支部長に北原正浩氏選出

天王寺支部（吉田英哲支部長）は、2月4日に昨年8月、上六近鉄の南隣に新築され、6階に新歌舞伎座が移転したYU FURAの5階・うおまんで6年ぶりの総会を開催した。

今回の開催では、本部の協力で約800人の在住校友・職域校友に案内状を送付した結果、女性2人を含む44人と来賓4人の48人が出席。会場が2力所に分かれることになり、ご迷惑をおかけしましたこと、お詫びします。

総会は、学歌斉唱、物故校友への黙祷の後、体調不良で欠席された吉田支部長（四天王寺元管長）に代わり、小西副支部長（日本拳法会会長）が開会挨拶。寺内俊太郎校友会長、前田



修二大阪市内支部連合会顧問から祝辞をいただき、議事では再開総会であるため、小西副支部長から天王寺支部の沿革が報告された。

今回、吉田支部長、小西副支部長が引退を表明され顧問に就任。新支部長に北原正浩氏、副支部長に吾東慶隆氏、会計は羽賀順一氏が留任する役員案が提案され、拍手で承認された。

懇親会では、元関西大学評議員会議長の山田榮一支部顧問の発声で乾杯し開宴。会場は名刺交換の場となり、話の途中で共通の知人がいたり、人の繋がりが分かったりと各テーブルで盛り上がった。最後に元司法書士関大会会長の行方正行支部顧問の開会挨拶、児島弘治氏のリードで逍遙歌を合唱。北原新支部長差し入れの天王寺釣鐘饅頭をお土産に散会した。

なお、集合写真は、足高将司大阪市会議員の口添えで新歌舞伎座の階段を借用して撮影することができた。（吾東慶隆）

（北原正浩〓06―6771―9789）

新支部長に西田嘉男氏
思いつくや今後の話で歓談
11月13日、ホテルアウイナ



大阪で22年度生野支部（西田嘉男支部長代行）総会を25人で開催した。渡邊組織部長をはじめ近隣支部からも多数のご出席をいただいた。

はじめに7月12日に他界された山本景造支部長をはじめ物故者に黙祷を捧げた。来賓、支部長代行の挨拶をいただいた後、議事に入り、事業報告、会計報告を承認。

また、新支部長には支部長代行の西田嘉男氏が選出され、他の役員は新支部長に一任された。新支部長挨拶の後、宴席に入った。思いつくや今後の事等、楽しく歓談した。

会員の新人会と総会への参加を祈願し、次回会つのを楽しみに散会した。（幹事長 藤澤繁凱）
（西田嘉男〓06―6771―1943）

平成7・12卒3人が出席 マジックショー楽しむ

12月2日、肥後橋・徐園で西支部（中野英満支部長）22年度総会が開催された。古川好男校友副会長及び辻佐一郎大阪市内支部連合会会長から来賓祝辞があり、大学の近況と校友会活動が懇切に報告され、大学の躍進ぶりに出席者一同感激し、西村輝和幹事長の司会によって総会は滞りなく進行した。

西区在住校友793人のうち17人が出席。平成7年卒2人、12年卒1人出席もあり総会の雰囲気は一段と明るくなった。

懇親会では、東郷洋校友会事務局長の挨拶があり、次いで沢勲西淀川支部長のユニークな乾杯の発声があり、また、当支部では毎回、応援していただいている斉城正之大阪中央支部顧問



の鮮やかなマジックショーがあり、楽しい総会であった。

西区は関西大学発祥の地であり、明治19年11月4日、井上操ら当時の司法官たちによって、この地の願宗寺内に設立された関西法律学校は現在の関西大学の前身である」と言う碑文の記された石碑が鞆公園テニスコート北の近く、京町堀2丁目3、大京モータープール南側に置かれている。（中野英満）

（中野地所鑑定〓06―6262―15801）

美々卯で新年役員会 全員に手品ネタ贈呈

2月5日、平野町的美々卯本店で18人の参加を得て、恒例の大阪中央支部（伊藤晃充支部長）新年役員会を開催した。

まず、伊藤支部長より今年一年間の行事予定の説明があつた。母校スプリングフェスタや支部対抗ゴルフ大会への参加をはじめ、盛り沢山の行事が予定されているが、皆が楽しみにしていた3月5日の相撲部屋見学会は、大阪場所中止のため残念ながら実現されなかった。

佐伯先輩の音頭で乾杯、うどんすきに舌鼓。宴もたけなわの頃、斎城先輩がマジックを披露、また全員にトランプ等のマジックネタがプレゼントされた。

（広報 矢野茂）



(ベル・イトウ「0743-1-2285」)

成人の日に互礼会・総会 来賓と住吉っさんへ初詣

例年通り住吉支部(野村建治支部長)新年互礼会と総会が、1月10日成人の日に行われた。わが支部の総会は、とても有難いことに寺内俊太郎会長ら本部来賓そして校友共に住吉っさん



の初詣ができることである。

一昨年架け替えられた太鼓橋に集合。この太鼓橋は私の小さい頃は、足がかりに今の段々のかわりにナンと穴が開けられていたのだ。怖くて怖くて登れなかったこと、下駄を穴から落として泣きべそをかいた覚えがうすうす残っている。

おめでとつ挨拶を交わし本殿へ。雅楽、巫女の舞、祝詞、拝礼、みな型どおり。でも年々それがかけがえのない大切なことに思えてくる。

今年一年の平安を祈った後、吉祥殿へ移動、総会となる。昨年は阿倍野支部と合同で河内國平氏刀工房の見学、魂を揺るがすような神々しいまでの異次元の体験をさせていただいた。総会も無事終わりあとは楽しい懇親会。今年は若い女性ピアノストとフルーティストを迎え、いつもとまた違う華やいだ音楽空間が演出された。(小林明子) (野村建治「06-6697-9655」)

生根神社で御抜い受ける 年賀交歓会に22人参加

吉村健治氏が新支部長に就任して初めての西成支部年賀交歓会が、1月9日に22人が参加して開催された。第1部は玉出しの生根神社にて神主さんの御抜いを受け、支部会員の健康と幸せ



第50回記念総会に99人が参集 塩田会長から中村新会長へバトン

11月27日、司法書士関大会(塩田貴美代会長)第50回記念総会が、大阪新阪急ホテルで開催された。

第1部総会では、塩田会長が、3期6年間お世話になったお礼と、本日の総会をもって退任する旨を述べた。その後、議案審議が行われ、各議案とも満場一致で承認された。特に今回の役員改選においては、塩田会長と副会長の3人が退任し、中村博会長他新役員が選任された。

総会終了後、第2部の式典及び懇親会が開催され、第50回記念総会ということで、大学からは上原洋允理事長、楠見晴重学長、増地英一常務理事、森本靖一郎理事・相談役、吉田栄司法学部長、校友会本部からも寺

を祈念した。

第2部は、かこのやにて「学歌音唱」で幕を開け、約2時間飲み放題で大変盛り上がり、逍遙歌の後、散会となった。

(花岡 宏)
(吉村健治「06-6661-5325」)



内俊太郎会長ほか13人のご列席をいただいた。また、関大法曹会、公認会計士関大会、会計人会、関大不動産鑑定士クラブ、社会保険労務士関大会、応援団OB長柄会、女子秀麗会、スポーツマンクラブなどから、多くの来賓に出席いただき、総勢

99人で盛会に開催された。

式典は、北田五十一副会長の開会挨拶の後、石原美之応援団OB長柄会副会長のリードで学歌を斉唱。塩田会長が、第1部総会において会長を退任した旨を、来賓の方々には3期6年間、会を応援していただいたお礼と感謝を述べ、感激のあまり言葉にならなかったが、熱き想いは、会場にひしひしと伝わった。また、会長になった時の目標として、第1に校友会長、理事長、学長が来ていただけるような会にすること、第2に試験合格祝賀会を大学と共催すること、第3に1000人参加の総会を実現することの3つを掲げたが、ほぼ達成できたことへの満足で溢れていた。

続いて、来賓を代表して上原理事長からは、大学の現状紹介のあと塩田会長に労いの言葉がかけられた。また、楠見学長からは、ハブ大学構想と関西大学と月桂冠がタイアップしたミネラルウォーター「自然の秀麗」のお話があった。続いて寺内校友会長の祝辞をいただき、森本理事・相談役の乾杯で懇親の場に移行した。

演奏は、好評をいただいた。和やかに会は進行し、中村博新会長の中締め挨拶の後に、塩田前会長に当会のために尽力をいただいたお礼にワインが贈呈された。

最後に、綿木真二長柄会事業部長のリードで逍遙歌を合唱し、磯崎副会長の閉会の辞をもつて散会となった。

なお、新役員は会長に中村博、副会長に佐竹正康、磯崎泰博、北田五十一、福本康史、幹事長に辻井宏之、会計監事には小島喜代一、重里正信の8人。

(幹事長 辻井宏之)
(中村博司法書士事務所気付) 06-6705-5678

北川前衆院議員が講演 新政権の政策に疑問提起

経済人クラブ(西村太一会長)第190回例会は、2月14日、大阪新阪急ホテルで開催され、来賓に畑下辰典・一軸浩幸名誉顧問、寺内俊太郎顧問・校友会長、サッカー全国大学選手権で母校に43年ぶりに優勝をもたらしていただいた島岡健太監督を迎え、北川知克前衆議院議員(昭49法)に「政権交代はしたけれど…」と題して講演いただいた。

「政権交代から1年5ヶ月が経過したが、新政権は国民の期待に応え、社会全体の閉塞感を



打破し、日本社会をよりよき方向に進めているのかはなほまだ疑問」だと提起され、「政権交代」「マニフェスト」「政党政治の危機」「政治に対する信頼(政治と金)」などから見る今後の政治課題と日本社会のあるべき姿について幅広く述べていただいた。

特に、これまでの政治が「権力」を得ることを目標としてきた結果、弊害が出てきたことを指摘し、アーノルド・J・トインビー氏の「社会が衰退して行く時の現象」(「国民の心にエゴイズムが生じ大きくなる 国民が自立心を失う 指導者が大衆迎合を始める 若者の指導を怠るようになる 幸せを金や物の量で量るようになる」)を紹介され、また、今後の「ものの見方」についても、安岡正篤氏の語録から 目先だけを見るもの

と、長い目で見るもの 一面的に見るものと、多面的・全面的に見るもの 枝葉末節を見るものと根本を見るもの、の3つをとりあげられた。

懇親会は、畑下名誉顧問から、学歌に歌われている「正義」について熱く語っていただき、乾杯。寺内会長からサッカー部優勝のお祝いの言葉と祝杯をいただき、島岡監督には天野正相談役からお祝いの金一封、能川幹事から花束が贈呈された。島岡監督からは当クラブに謝辞が述べられ、また当クラブ会員でサッカー部後援会会長の市田利夫氏(45法)から活動支援のお礼の言葉があり、会は、外の雪中の寒波を忘れ、講師、監督を囲み、熱い交流の輪が広がった。なお、今回新入会員として小野昭夫氏(40文新)、藤原輝之氏(59法)、特別参加として河野賢治氏(57商)福田平司氏(45学商)が紹介された。

「らぼっぼ」永尾社長が講演 仕事に対する意識を再確認

経済人クラブ若手会 不動産・建築部会(KURC)(川端康平部会長)の第3回勉強会が、経済人クラブ若手会との合同交流会として12月7日にホテ

ル阪急インターナショナルで開催された。

勉強会には39人が参加し、「おいもさんのお店らぼっぼ」「道頓堀くる」など多くのブランドを構築した校友の白ハト食品工業・永尾俊一社長(昭61法)に「芝居浄瑠璃いもたこなんきん」を通してお客様の幸せに何度も何度も役立ち続けたい」を経営理念として、お客様、従業員、取引先のすべてが幸せになれる白ハトの目指すダイヤモンドについてお話しいただいた。



制御盤配電盤製作・計装、電気工事



ISO 9001:2008 本社のみ取得 cert No:CI/1275

共栄電器工業株式会社

代表取締役 柳 楽 信義

本社 〒660-0815
尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話 大阪(6481)8807番(代) FAX(6482)7172
東京営業所 及工場 〒177-0033
東京都練馬区高野台2丁目6番16号
電話 東京(3904)1521番 FAX(3904)3430
ホームページ <http://www.kyouei-d.co.jp>

良縁お世話致します

婚活(結婚活動)は、早ければ早いほど有利です!

関大生割引あり 一度お電話ください。

プライダル ナカノ TEL 06-6702-8624

ホームページ <http://www.bridal-nakano.com/index.htm>

●関西大学卒業生(商87) 中野友美子



経済産業大臣認定個人情報保護団体
結婚相談業サポート協会会員





新年会兼ねた初の合格祝賀会を開催
社会保険労務士会関大会（大門博会長）の新年会兼合格祝賀会が、1月22日に大阪日本橋の鳥よし本店で開催された。

明いただき、会員皆が日々の仕事に対する意識を再認識するよい機会を得ることができた。
その後の懇親会は、平井寛（昭60工）KURC副会長の乾杯で開宴。初参加の方からの自己紹介や交流で盛り上がり、最後は応援団出身の畑尚樹氏（平8工）の指揮で道遙歌を合唱し終了した。
なお、勉強会の様子はホームページにも掲載しています。
<http://ku-keizaijclub.jp>
（副幹事長 楠隆夫＝平9工）
（半野司法書士事務所＝06-4800-1320）
hanno-1320@mbj.nifty.com

新年会に先立ち同会場にて役員会が開催され、創立11年目の新しい組織と会則について審議、次回の総会に向けて今後の組織の発展を熱心に討議した。
新年会は、昨年度合格された6人のフレッシュメンバーを迎えて、祝賀ムードの中、43人の出席で開催された。当初は少し緊張ぎみだったが、大門会長の乾杯の後、和やかなうちに近況報告等で親睦を大いに深めることができた。新合格者の自己紹介では合格の苦労話等で大いに盛り上がった。

新合格者は阪井正一、飯伏孝寿、高木正浩、久田佳澄、江良香織、岩本友加更また平成19年卒の山下仁美の各氏で、会員の初参加者も数名おられた。
最後に道遙歌を合唱、スプリングフェスティバルでの再会を約して散会した。
（広報委員 牧江重徳）
（永盛労務事務所気付＝06-6170-4864）

校友総会時に秋の集い60周年総会での申合せ

第一新生会（篠原昭三代表）は、22年度校友総会を機に、役員に秋の集いと呼びかけ、11人が参集し交歓を深めた。
第一新生会では、昨年5月17日に卒業60周年記念総会を大阪新阪急ホテルで開催し、52人が



参集。その席上で今後は、春秋の集いを開催して、旧交を温めようとの申し合わせになり、その第一号が、今回の催しとなった。
（篠原昭三）
（篠原昭三＝0748-83-1221）

家族とカニづくしの旅ファミリアの交流深める

二九千里会（福岡副会長）では、会員と家族の親睦を図るため2月6日から一泊二日で夕日ヶ浦温泉へ、家族とも13人がカニづくしの旅をした。雪は30センチほど積もっていたが当日は運良く天気に恵まれた。
宿泊した海鮮懐石料理ホテル「佳松苑」の沖田真奈美副社長は校友（平8社）で、「高配をいただき、宴会ではトミーズ水野（水野夫妻）の不思議なマジックショーとマジックの手ほどきを受け、スナックではカラオケを思う存分歌い熱が上った。



翌日は久美浜在住の同期生岩田洋一郎氏に案内と解説をしていただき、大変良い勉強になった。鳥インフルエンザのため豊岡コウの鳥郷公園は閉館になったが、正絹の織元「田勇」へ案内いただいた。サミット参加の首脳夫人に贈られた素晴らしい「チリメンの羽織」を見せていただき、工場で作業を見学。その後、いずし古代学習館、家老屋敷を散策し帰路についた。
今回の旅行は関大ファミリアの交流を強め、良い思い出になり有意義であった。

（総務幹事 水野富蔵）
（水野富蔵＝072-922-0864）

郷土史研究の亥野氏に祝意兵庫県「としびの賞」

二九千里会では1月7日、新年宴会を大阪市中央区中華料理店・龍門に17人が参集して開催した。

陸自音楽まつりに参加

会長の新年挨拶の後、昨年初故された法学部乾昌明氏、経済学部小引英生氏への哀悼の黙祷。天井元会長の乾杯の音頭に始まり、兵庫県知事より「としびの賞」を贈られた郷土史研究の文学部亥野氏に祝意を表した。往年のマドンナ2人、本間・天井ご夫妻も出席され和やかに過ごした。
（福岡 剛）



2月12日、中部方面隊50周年記念として陸上自衛隊音楽まつりが兵庫県立芸術文化センターで開催され、二九千里会では、昨年に続き本間氏の紹介で17人が参加した。
プロローグは自衛隊の災害救済等活動の映像で始まった。全員起立し君が代の合唱、琴の演奏を交えた懐かしい日本の歌、姫路白鷺太鼓等7地区の名物和大鼓隊による勇壮な共演と乱

舞、ユーモラスな打楽器ドリル
陸海空全隊200余人の大演
奏、最後は隊員が客席に下りて
観客をとりまくように演奏、観
客は拍手で呼応、一体となつて

高槻ミューズキャンパスを見学

総会では初参加者含め近況報告

三二会（北村公宏会長）では
12月4日、40人参加のもと高槻
ミューズキャンパス見学会のあ
と、総会をたかつき京都ホテル
で開催した。

見学会では、加藤事務局次長
の懇切丁寧な対応をいただき
幸運にも土曜日であったので
小・中・高生が学習する東棟も
併せ見学することができた。見
学者一同、昭和32年（1957
年）卒業当時と比較して、まさ
に想像を超えた絶好の環境と行
き届いた諸設備を見学するにつ
け、これぞ21世紀に相応しい施
設と絶句した。

見学を終えて、学校経営環境
が厳しさを増す中であつて、思
い切った先行投資にさすが「教
育の関大」「学の実化」を強く印
象づけられた。

たかつき京都ホテルでの総
会・懇親会は学歌斉唱に始まっ
た。出席の上原理事長から最近
の母校関大に対する社会的評価
が受験生を含めて日増しに高ま
つており、高槻ミューズキャン

フィナーレを飾った。

1時間40分の公演は瞬く間に
過ぎ、有意義で楽しいひと時を
過した。（幹事 日高由雄）

パス開設が全体的なプラスイメ
ージに貢献したように思える旨
の挨拶があつた。
海蔵寺会長代行が、2011
年に参加者全員が喜寿を迎える
旨の挨拶と健康を願つて乾杯の
音頭をとり、懇親会に入った。
数人の初参加者も含め自己紹介
が行われ、現在の発展した母校
の姿を非常に喜ばしいと思うと
同時に総会の継続開催を望む声
も多く聞かれた。



目出度い話題も披露された。

昨秋宮崎昌泰氏（法）が徳島市
助役時代の功績が認められ叙勲
を受章された。同期生にとつて
上原理事長に続く2人目の受章
であり大変誇らしく思えた。

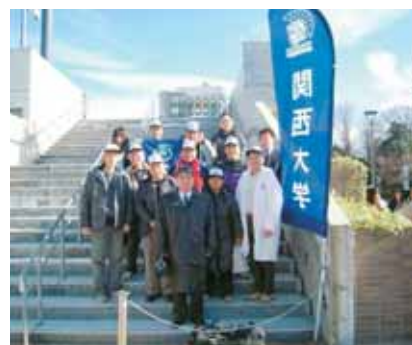
盛り上がった懇親会も、名残
惜しみながら互いに再会を約し
川口浩之応援団長のリードで逍
遙歌を合唱し散会した。

（幹事 廣芝國夫）
（宇野稔）06—6356—01
09）

一高イレブンに熱い声援 同窓会が応援バスツアー

第89回全国高校サッカー選手
権大会出場を果たした関大一高
サッカー部を応援するため、応
援バスツアーが一高同窓会（小
坂圭一会長）により催され、私
も関大一中在学中の娘と参加し
た。校友に加えて、現役一高生
と選手父兄の方々合わせて22人
を乗せたバスは、1月1日の朝
時に大阪を出発し、翌2日の朝
に試合会場のNAICK5スタジ
アム大宮入りした。

試合中は、同窓会で作製した
揃いの応援帽子を被り応援ステ
ックを両手に、現役生や先生方
をはじめとする学校関係者、父
兄の方々と一緒に、山形県代表
の羽黒高校と対戦する関大一高
イレブンに熱い声援を送った。
試合のほつは、開始早々の前



半1分に井村君のゴールで先
制。後半10分には今井君のゴー
ルで追加点。そして後半39分に
2得点目となる井村君のゴール
でダメ押し。PKによる1点は
返されたが、3-1のスコアで
関大一高の勝利であった。

帰りに台場の大江戸温泉に
立ち寄り、応援と夜行バスで疲
れた体を癒し、3日の早朝に大
阪に帰着。関大一高サッカー部
から元気を貰い、また校友間の
親睦も深められた充実の応援バ
スツアーは、母校と関大一高サ
ッカー部のますますの活躍と発
展を祈りながら散会となった。

（総務 浅田育孝）
（長 しづお）06—6877—
0480）

林家染太さんも初参加 活動等はHPでも報告

文化会OB会・葦文会（中
瀬和夫会長）では、12月11日に
親睦会を大阪市北区の相撲茶屋

「くもんの先生」募集中

くもんの先生は地域の子どもの成長と一緒に応援できる仕事です。「子どもに教えることができるか不安…」大丈夫です。私たちがサポートしますので、一緒に学んでいきましょう。子どもの能力を育み、自らも高めることができます。随時、「くもんの先生」説明会を実施しています。この機会にお気軽にご参加ください。

KUMON 日本公文教育研究会 近畿ゾーンリクルートチーム
〒532-8511 大阪市淀川区西中島5-6-6 公文教育会館2階

やってみよう よいしごと
0120-834-414

受付／9：30～17：30（土・日・祝除く）

お問合せいただいた方には「くもんの先生」のことがわかるDVDを、説明会にご出席いただいた方には公文式のことわかる書籍をプレゼントしております。

くもんの先生のお仕事

- 教室は週2回（午後の5時間程度）
- 教科は算数・数学・英語、国語
- 収入は生徒数により異なります。（開設時に「開設認可料」105,000円が必要です）

応募の資格

- 50歳までの女性。
- 充実した研修制度があるため未経験でも安心です。（研修費無料）

ケータイから
簡単アクセス



「くもんの先生」
説明会
受付中！

KUMONでは各地域で
「くもんの先生」説明会を
実施しています。



平成21年度

1級建築士 設計製図試験

合格者占有率 No.1

平成21年も、全国の合格者の半数以上が、当学院の受講生でした。

設計製図試験合格者
全国 5,164 名中
当学院合格者 2,767 名

平成21年度 1級建築士設計製図試験
全国合格者占有率 **53.6%** V2達成

全国主要都市でも軒並み6割以上の合格者占有率を達成

宮城県 合格者占有率 62.4% 宮城県合格者 85 名中 当学院合格者 53 名	東京都 合格者占有率 63.3% 東京都合格者 1,189 名中 当学院合格者 753 名
神奈川県 合格者占有率 65.2% 神奈川県合格者 541 名中 当学院合格者 353 名	埼玉県 合格者占有率 62.6% 埼玉県合格者 305 名中 当学院合格者 191 名
愛知県 合格者占有率 69.0% 愛知県合格者 348 名中 当学院合格者 240 名	三重県 合格者占有率 60.8% 三重県合格者 51 名中 当学院合格者 31 名
岐阜県 合格者占有率 66.7% 岐阜県合格者 69 名中 当学院合格者 46 名	香川県 合格者占有率 62.5% 香川県合格者 32 名中 当学院合格者 20 名

関西大学

平成21年度 1級建築士
関西大学卒業合格者 **49** 名中
総合資格学院
講習利用合格者 **32** 名合格
関西大学
合格者占有率 **65.3%**

平成21年度も
多くの関西大学卒業生の方が
当学院講座を利用して合格されました！

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※卒業大学合格者数、都道府県合格者数は、(財)建築技術教育普及センター発表による。平成21年12月18日現在

開講講座

1級・2級建築士

宅地建物取引主任者 1級・2級建築施工管理技士
インテリアコーディネーター 構造計算コース(実務講座)

株式会社 総合資格
(社)日本建築学会
(社)全国建築士能力開発促進会
株式会社 総合資格学院法政講習センター
国土交通大臣登録講習機関

監理技術者講習実施機関 登録番号 7
宅建登録講習機関 登録番号 (2) 第009号
宅建登録実務講習実施機関 登録番号 (2) 第5号
一級建築士定期講習 登録番号 第5号
二級建築士定期講習 登録番号 第4号
管理建築士講習 登録番号 第2号

今すぐウェブ検索 **総合資格** 検索

http://www.shikaku.co.jp

ケータイサイトも充実 **http://gakuin.jp**

※QRコードはバーコードリーダー対応機種に限りです。

30th Anniversary 総合資格学院

学院長 岸 隆司 (法 48 卒)

梅田校 TEL.06-6374-1411	神戸校 TEL.078-241-1711
新大阪校 TEL.06-6101-1911	姫路校 TEL.079-224-1411
京橋校 TEL.06-6882-8211	京都校 TEL.075-352-3011
なんば校 TEL.06-6648-5511	津波校 TEL.077-566-6911
堺校 TEL.072-222-9311	奈良校 TEL.0742-30-1511
尼崎校 TEL.06-6430-6811	



復活第2回懇親忘年会
現役との交流も目指す

証志会(現証券研究部OB
会)は、毎年懇親忘年会を現役
を交えて開催していたが、いつ

「葦文会」で検索できます。
http://www.2.kandai-
koyukai.com/ai/bunkai/
(幹事長 三坂友章)
(三坂登記事務所内) 090-
5158-7259)

「寺尾」で開催した。昨年に引
き続き吟詩部OB会、茶道部O
B会からも参加があり、初参加
の4人を含む約20名が参集。英
語落語で有名な林家染太さんも
今回初参加していただいた。

文化会本部は、昭和47年に活
動停止し、60年代に再建に向け
動き出し、平成4年に再発足し
たという歴史がある。活動停止
前の先輩諸兄、文化会本部が無
かった先輩諸兄、本部再発足後

の卒業生が一つの鍋を囲み、懇
親を深めることができ、文化会
の歴史、現在のクラブ活動状況
等の情報交換や自己紹介をしな
がら懇親を大いに深めていった。
平成22年度は、地域支部と連携
した事業も行ったが、23年度も
また新たな地域支部との連携が
できそうである。

葦文会では、会員を募集して
います。活動状況等を葦文会の
ホームページに掲載しています。
「葦文会」で検索できます。



の間に途絶えてしまった。4
年程前から春のスプリングフェ
スティバル開催時に復活させ、
年2回は開催しようと思つた21
年に実施した。

22年度も12月14日、大阪駅前
のピア・レストラン、ニユー・
トーキョーで復活第2回懇親忘
年会を開催した。出席者は13人
(昨年10人)。岡田誠一会長から
挨拶と学校の近況について報告

千葉、岐阜からも参加
2010アンポンタン

3年前からできるだけ毎年開
催することになったアンポンタ
ン。文学部仏文科72年卒業生の
同窓会で、今年は10月30日に梅
田ミューンで開催した。参加
者は11人(男子5人、女子6
人)で、和気藹々と学生時代の
懐かしい思い出話や近況報告等

をいただき、神能先輩の乾杯の
音頭で懇親会がスタートした。
懇親会では、全員が近況につ
いて語り、欠席者からの返信で
近況を知ってもらった。また、
来年も開催すること、OBが
20人以上集まるようになれば現
役との交流開催を目指すことを
確認した。この記事を読まれた
証志会のメンバーの皆様方の出
席をお待ちしています。

(幹事 重田守康)

で楽しいひと時を過ごした。
特に今回、千葉から小柳(旧
姓小森)宣子さんと岐阜から高
橋良彰君ら遠方からの参加もあ
り、感激の対面だった。まだま
だ社会人として元気に活躍して
いる人、定年で時間の余裕がで
き、これからの人生を楽しもう
とする人など楽しい話や苦労話
等がたくさん飛び出した。
また、川柳作家赤松(旧姓村
上)ますみさんから、自ら主催



ゴルフだより

する『川柳文学コロキウム』への投句の勧めや、川柳に関する興味ある話もあり、来年も一

団体戦は大差で2連覇 立命館参加に一筋の光明

5月の支部対抗親睦ゴルフ大会で3度目の団体優勝を飾った茨木支部（北川均支部長）。11月30日、亀岡市の関西カントリークラブで開催された「第五回関・関・同・龍4大学親睦ゴルフ会」に参戦した。

過去の戦績は、大学の名誉がかかった団体戦は、同志社・関学・関大が優勝を分け合い、毎回相拮抗した熱戦を展開してきた。

今大会、快晴・微風絶好のゴルフ日和に恵まれ、茨木近辺在住の同志社10人、関学9人、関大8人、龍谷7人のかよった数の精鋭34人が、かなり癖のある高速グリーンと対決。普段ほとんど話す機会のない同伴競技者。しかし1ホール・2ホールとプレーしていくうちに、まるで何十年もの知己が如き雰囲気包まれていくのもスポーツの持つ不思議さ。和やかなプレーが続いた。

さあ、成績発表。個人戦は、何となくハンディに恵まれた感の強い関学の高橋選手が優勝。

人でも多くの参加者があることを願って散会した。

（幹事 岡本 仁）



2位も関学の入江選手。3位にわが関大チームの木地晴子選手が入賞された。特筆すべきは、木地選手の活躍ぶり。レディースティ使用とはいえず、並み居る男性群を尻目に、難しい高速グリーンを克服しての82打。ベストグロス賞を獲得された。

続いて団体戦の発表。優勝は、ネット・グロスとも他大学を圧倒した関大が、2位の同志社に大差をつけて圧勝。2連覇を達成。優勝カップが北川支部長に手渡された。

表彰式も終え、夫々プレーの思い出話で会場も大いに盛り上がり、中央市場から直接取り寄

せた商品の果物類を両脇に抱え、帰路に着いた。

なお、今大会開催に際し、こ

数年模索していた立命館大学参加に、一筋の光明が見出せたことは大きな収穫であった。来年は、五大学親睦ゴルフ会として更に成長していくことを期待している。（齋藤勝幹 39法卒）

那須ちふり湖CCで開催 高木支部長が念願の初優勝

11月27日に第13回埼玉支部（高木良二支部長）ゴルフコンペが、栃木県的那須ちふり湖カントリークラブで開催された。

2組8名という少人数のコンペとなったが、11月末とは思えない穏やかな天気に恵まれ、今回、13回目にして高木支部長（49工）が念願の初優勝を果した。

コンペ終了後は温泉に浸かった後、飲み放題の1次会、2次会のカラオケ大会と大いに親睦



を深めた。次回の5月開催を確認し、翌朝、朝食後解散した。

校友トピックス

現代美術家の 浦 大典氏が 朝日新聞社賞を受賞

1月12日、16日に京都市国際交流会館で開かれた第5回湖都（古都）百景芸術大賞展で、現代美術家の浦 大典さん（つら・ひろのり＝平22学社）の作品「湖の花園」が朝日新聞社賞を受賞した。

浦さんは、昨年9月には上海万博の日本館で「源氏物語芸術祭」の舞台、麗しき光源氏の末裔達「EYONORI CRAの世界」を初めてプロデュース。日本舞踊・ファッションショー・パフォー

マンスの3部構成で繰り広げられた舞台は、超満員で



▲受賞作品



（高木良二＝048－882－7753）

立見席までいっぱい各国からの来場者を魅了。公演のあと光源氏の装束を着た浦さんとの記念撮影では長蛇の列ができた。

「自分の芸術は作品だけでなく、人と人が言葉の壁を越え、障害のある無しを越え、心と心で繋がりが何かを作り上げていくことに大きな意味がある」と思っています。という浦さんにとっても、スタッフと言葉の壁を越えて作り上げ、観客に言葉の壁を越えて温もりのある感動を与えられた舞台は、大きなステップとなり、更なる制作意欲を沸き立たせるものとなった。今回の受賞もその一歩。

一高・大学サッカー部 東京の空に「関大旋風」

今年も全国大会に出場の一高サッカー部と大学サッカー部の応援に行った。

一高同窓会（小坂圭一会長）一行は、1月1日23時に貸切バスで大阪を出発。翌2日に埼玉県NACK5スタジアム大宮に到着。初戦の山形・羽黒との対戦を応援した。大阪代表として2年連続4回目出場の一高サッカー部は3－1で勝利、応援団も大いに湧いた。



一方、国立競技場で5日、全日本大学サッカー選手権大会の決勝が行われ、関大が延長戦の末、2-1で中京大を破り、43大会ぶりの優勝を勝ち取った。ハーフタイムの時、サッカー部OBの古川好男さんにお目にかかり、「サッカーには流れがある」とお聞きしていたが、試合は、まさに関大が流れを抱き込んでの勝利であった。

最後に、応援の皆さんと道徳歌を歌う時には、涙が止めどなく流れ、感動で胸が一杯になった。このサッカー部の優勝が、関大スポーツにセンセーションを巻き起こすとともに、来年末、現役の諸君が私たちを東京の地に呼んでくれることを心から願い、国立競技場を後にした。

(池田支部長 古川 智)

新刊



紹介

河田恵昭(社会安全学部教授)著
『津波災害―減災社会を築く』

岩波新書(岩波書店刊)
定価720円+税



防災・減災の主役は市民である。津波の場合、地震が発生してから来襲するまでの間に避難さえすれば命は助かる。しかし、市民の避難率は極めて低く、昨年のチリ津波ではわずか3・8%にとどまっている。

市民に避難してもらうためには何が必要なのか?津波警報などの防災情報だけでは不十分である。その情報を活かしてもらったための知識こそが

重要なのである。その意味で津波災害を様々な角度から説明し、市民に理解してもらえようという本書が求められている。

評者はこの本を一般的な津波防災に関する啓蒙書と思い手にとった。しかし、読み始めてすぐに驚かされた。この本にはメカニズムが書かれているのである。津波という自然現象がどのように発生し、我々の生活環境をどのように襲うのかが物理的に正しく説明されているのである。しかも、数式を使わず、新書としての読みやすさも損なわずに。数式の代わりに、数字がうまく散りばめられている。ただの数字の羅列ではない。各場面で具体的な数字が示され、それらを基に語られる事実は読むものを引きつける。そして、現象をイメージすることを助けられている。普通の研究者にはなかなかできない芸当である。学術的な知見が豊富であるのみならず、市民向けに数えきれないほどの講演を行ってきた著者だからこそできる技であろう。啓蒙書であると同時に、津波という自然現象を正しく理解できる本書を市民の必読の書としてお薦めしたい。

(社会安全学部教授 高橋智幸)

井上 宏名誉教授(著)
『笑いの力―笑って生き生き』

関西大学出版部 刊
定価1400円+税



著者の井上宏関西大学名誉教授は、長らく社会学部マスコミ専攻の中心メンバーとして教鞭をとったあと、総合情報学部の設立にやはり中心メンバーとしてたずさわるなど、関西大学の発展に大きな貢献をのこされる一方、早くから笑いというユーモアの有するかけがえない価値に着目され、

同士と語らって日本笑い学会という世界的にもユニークな学会を創始、以来16年にわたって初代会長を務められた日本笑い学の偉大なトップリーダーである。当然のことながら、笑い学に関連する著書は質量ともに(たぶん世界的にも)群を抜いているが、関西大学出版部からも1992年に『大阪の笑い』、2003年に『大阪の笑い』の2冊を出されてあり、この『笑いの力』で3冊目となる。本書の帯

に「著者渾身の『笑い』三部作完成!」と銘打たれているゆえんである。

「笑いを学問する」、「笑いとコミュニケーション」、「不思議な力をもつ笑顔」、「笑って生き生き」、「笑いと心身医学」、「笑いと心」、「笑い学のすすめ」の7章からなる本書は、魅力的なタイトルルのラインナップから想像されるように、さすが碩学、思いもかけぬさまざまな角度から笑いの力を語って尽きるところがない。あるときは鋭く、あるところではユーモラスに、自身の体験をたくさんまじえながら、笑い学の多様な知見が独特のはんなりした口調でわかりやすく語られるところが、本書の魅力である。

本のどこを一番面白いと感じるかは、およそ人によってまちまちだが、私は冒頭の「笑いを学問する」を一番楽しく読んだ。この部分、もとは新聞のロングインタビューの連載記事だそうで、生粋の大阪人である著者の半生がたどられ、大阪への、お笑い芸への、笑いそのもののへの、そして笑い学への愛情が、ノスタルジックに語られる。

大阪を、お笑い芸を、笑いそのものを、また笑い学をこよなく愛する人々に、広くす

お悔み申し上げます

(敬称略)

綿谷 弘(わたたに・ひろむ) 昭23専1経(平成22年3月15日死去。82歳。枚方市)

三井弘志(みつゐ・ひろし) 昭33学芸、元明石市職員(4月30日死去。75歳。高砂市)

熊田忠雄(くまだ・たけお) 昭27学芸、元大阪府職員(5月17日死去。80歳。大阪市)

太田興延(おた・こうえん) 昭4関甲、長林寺住職(9月2日死去。98歳。洲本市)

深田耕司(ふかた・こうじ) 昭60学芸、セキスイハイム山陽(10月16日死去。49歳。東大阪市)

竹迫一雄(たけさこ・かずお) 昭36学芸、コウワ機工取締役会長(11月9日死去。73歳。八尾市)

鍵谷武雄(かきたに・たけお) 昭10専2商、元高千穂交易社長(12月4日死去。98歳。東京都港区)

小引英生(こひき・ひでお) 昭29学芸、旭商会代表者、校友会役員、豊中支部顧問(12月8日死去。79歳。豊中市)

峰 義治(みね・よしはる) 昭35学芸、峰肥料商會取締役社長、河内長野支部副支部長、校友会代議員(12月13日死去。72歳。河内長野市)

鹿田匡志(しかた・まさし) 平4一高・8学商、アルパインツアサービス大阪支店(12月13日死去。37歳。大阪市)

榎原嘉之(えばら・よしゆき) 旧姓北浦、昭25学芸、元ケー・エフ・シー顧問、豊中支部顧問、校友会代議員(12月16日死去。82歳。豊中市)

渡部 卓(わたなべ・たかし) 昭37学芸、介護老人保健施設ボニール事務次長(12月22日死去。72歳。さいたま市)

杉本庄七(すぎもと・しょうしち) 昭29学芸、元吹田市議会議員、元吹田支部参与、元校友会代議員(12月29日死去。79歳。吹田市)

西川恵祥(にしかわ・しげよし) 昭42一高・47学芸、エフ・デジコ代表取締役(12月31日死去。61歳。守口市)

川崎和也(かわさき・かずや) 平19学商、平成23年1月3日死去。27歳。香芝市)

榎原信昭(かしはら・のぶあき) 昭25学芸、元東大阪市職員(1月4日死去。83歳。奈良市)

森口宏一(もりぐち・ひろかず) 昭29学芸、現代美術作家・彫刻家(1月6日死去。80歳。豊中市)

孝志嘉夫(こうちゆう・よしお) 昭32学芸、関包スチール(1月6日死去。76歳。堺市)

野島富貴子(のしま・ふきこ) 旧姓村岡、昭28学芸、富貴興産代表取締役(1月16日死去。79歳。富田林市)

五十嵐和之(いがらし・かずゆき) 平8学芸、1月16日死去。37歳。藤市)

高田勝三(たかた・かつぞう) 昭37学商、元高田家具代表取締役、高槻島本支部副幹事長、元レスリング部OB会副会長(1月18日死去。71歳。高槻市)

船越 孜(ふなこし・つとむ) 昭30学芸、弁護士、日本基礎技術監査役(1月25日死去。79歳。豊中市)

三宅川正(みやがわ・たけし) 名誉教授、元文学部教授・英文学(1月27日死去。99歳。豊中市)

市田弥一郎(いちだ・やいちろう) 元一中(一高教諭)(2月13日死去。89歳。堺市)

岸本正純(きしもと・まさずみ) 昭34学芸、吹田支部常任幹事、校友会代議員(3月2日死去。75歳。吹田市)

会と催し

掲載は、組織名、開催日時、場所(会費、連絡先・電話番号)の順。

【本部関係】

第97回定時代議員会 6月11日(土)午後1時 千里山キャンパス・100周年記念会館
天神祭船渡御奉拝船「関大丸」就航 7月25日(月)午後5時 大川・指定乗船場
第17回海外研修 9月23日(祝)～25日(日)2泊3日 台湾
平成23年度校友総会 10月16日(日)午後1時 千里山キャンパス第2学舎4号館「BIGホール100」

【地域支部】

上海関大会3月度定例会 3月26日(土)午後7時 場所未定(復旦大学日本研究センター内に関西大学上海オフィスが設置され、3月27日に学長・理事長はじめ大学関係者、校友会役員等が出席して開所式が挙行されるのに伴い、前日に合同交歓会として開催。上海関大会幹事・山本震一=yamamotos@shystrading.com)
四条囃支部総会 3月26日(土)午後6時 くるまや(櫻井孝雄=072-876-0836)
八尾支部市内史跡めぐり 3月27日(日)午前10時 JR八尾駅南改札口集合(中尾達夫=072-998-3526、090-9877-5700)
羽曳野支部総会 4月16日(土)午前11時半 LICはびきの(関西インシュアランス・小林民夫=072-938-7778)
神戸支部ゴルフ親睦会 4月19日(火) オリムピックゴルフ倶楽部(2千円+プレーフィ1万2千円。東光商会=FA X078-453-2171、ku1886@nifty.com)
西成支部総会 5月15日(日)午後4時 ホテル「メトロ」(6千円、初参加及び女性には3千円。年会費3千円=初参加者は免除。花岡宏=06-6661-5506)
富田林支部第2回歴史散歩 5月15日(日) 太子町の史跡を探访(秦純一=0721-93-3085)
富田林支部第2回ゴルフコンペ 5月20日(金) 吉野カントリークラブ(筒井孝一=0721-29-0095)
柏原支部総会 5月22日(日)時間未定 サンヒル柏原(岡野有平=072-972-0325)
名張支部総会 5月22日(日)時間・場所未定(前田國男=0595-61-0550)
和歌山支部総会 5月29日(日)午前11時 ダイワロイネットホテル和歌山(長谷川冷機・赤井雅哉=073-436-2151)
和泉支部総会 6月4日(土)午後7時 和泉シティプラザ・レセプションホール(5千円。山本邦夫=080-6210-3270)
神戸支部総会 6月17日(金)午後6時半 ホテルオークラ神戸(昭和卒1万円、平成卒8千円。東光商会=FA X078-453-2171、

ku1886@nifty.com)

八尾支部総会 6月18日(土)午前11時 八尾市文化会館・プリズムホール(中尾達夫=072-998-3526)
北支部総会 6月24日(金)午後5時半 ニュームンヘン北大使館(司法書士市田利夫事務所=06-6375-1336)
堺支部設立70周年記念総会 6月25日(土)午後4時 リーガロイヤルホテル堺(鍋島均=072-998-3526)
城東・鶴見・旭3支部合同総会 6月25日(土)午後6時半 天満橋・大阪キャッスルホテル3階・錦城閣(鶴見支部・迫 匡=06-6961-7363)
京都支部総会 7月2日(土)午後6時 リーガロイヤルホテル京都(大西康治=075-691-3513)
岡山支部ゴルフ大会 7月2日(土) 金陵カントリークラブ(ユアーズコンサルティング=086-250-5592)
岡山支部総会 7月3日(日)午後1時 岡山アークホテル(ユアーズコンサルティング=086-250-5592)
富田林支部総会 7月9日(土)午前10時半 富田林市民会館(野島努=0721-23-3190)
高槻島本支部総会 7月9日(土)午後3時 たかつき京都ホテル(8千円、コヤマカンパニー=072-682-2525)

【職域会ほか団体】

柏原市役所関大会創設40周年記念懇親会 3月29日(火)午後7時 シェラトン都ホテル(教育委員会文化財課・石田成年=072-976-3430)
関大チェリークラブゴルフコンペ 4月12日(火)午前8時半 るり溪ゴルフクラブ(敷内正明=06-6211-1050)
大阪国税秀麗会総会 4月22日(金)午後7時 東天紅大阪天満橋OMM店(中野純一=072-726-6164)
天六同友会総会 6月18日(土)午後3時半 千里山キャンパス・校友会会議室(石井公認会計士事務所=06-6364-6816)
東京経済人クラブ交歓会 6月20日(月)午後6時半 場所未定(東京センター=03-3211-1670)
応援団OB千成会総会 6月25日(土)正午 ホテル阪急インターナショナル(田中正喜=06-6499-1948)
スポーツマンクラブ七夕総会 7月7日(木)午後7時 ニュームンヘン北大使館(関西船用=06-6572-1021)
自動車関大会総会 7月13日(水)午後6時45分 ホテル大阪ベイタワー(大阪トヨタ自動車経理グループ・中野吾一=06-6451-6853)
司法書士関大会合格祝賀会 7月16(土)午後6時 大阪キャッスルホテル(中村博司法書士事務所=06-6705-5678)

ご 良 縁

成婚率の高さがキメテ!!

株式会社 **Em Road** Marriage Road

コンピューターを一切使わず、
お一人お一人丁寧にお世話させて
いただいております。

※エムロードはここが違う!!

- 1 成婚率の高さ
(無駄なお見合いを省いた成婚重視の手づくり
100%の行き届いたシステム)
- 2 質の高い会員層
(国公立・有名私立大卒が中心)
- 3 同一アドバイザーによる一貫したお世話
(ご入会からご成婚まで、行き違いのないように
同一アドバイザーが担当)
- 4 自社会員のみ構成
(成婚率の高さの維持とプライバシーの保護の
為に他社との提携は一切なし)
- 5 ご両親説明会開催
(月一回ご両親への説明会開催)
- 6 格式あるお見合いパーティー
(帝国ホテル・リッツカールトン等一流ホテルでの
会員様だけの集い)
- 7 安心の均一料金システム
(どの大学ご出身者も、すべて平等。成婚重視
の安心料金システム)



新聞・テレビで

“成婚率の高い結婚相談所”と紹介されました。

- ドクターズコース、一般コース、中高年各コース 有
- 資料請求無料

NPO法人ワークライフバランス推進協力機構 監事
業界団体 NLB日本ナノライセンス結婚専科システム協議会 理事

お問い合わせセンター 大阪・神戸・京都
よいふうぶ よろしく
0120-4122-46



毎日新聞ビル5F 神戸国際会館19F オフィスワン四条烏丸6F

直営店
大阪 大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞ビル5F
神戸 神戸市中央区御幸通り8-1-6 神戸国際会館19F
京都 京都市下京区室町通綾小路路上の鶏鉾町480番地
オフィスワン四条烏丸6F

携帯サイト **m-road.info** エムロード 結婚 検索

●営業時間/10:00~18:30 ●定休日/水曜日

創業21年、5,500組を超える成婚実績、
コンピューターを一切使わず、すべててづくり100%
の誠実なマンツーマンシステムです。
また、ご家庭環境、お人柄等バランスのとれたご紹介
を重視し、無駄のないお出会いを実施しています。
その為、他社との連携は一切いたしておりません。

私どもに届いたお手紙です。

交際中はいろいろお世話になりました。
的確な時期にとっても参考になるアドバイスをいた
だき、感謝しています。
色々とお迷惑をおかけしましたが、このたび縁あって
素晴らしい女性と決まりました。
これから二人でいろいろ苦難もあると思いますが、
がんばっていきたいと思います。

京都大学大学院卒 公認会計士 35歳 男性

北摂・吹田、「大阪」駅へ乗車10分(3駅)JR・阪急2路線利用可



国土交通省 第1回「長期優良住宅先導事業」採択物件
「長期優良住宅」認定マンション
「ブランシエラ吹田片山公園」



建物内実物100㎡超モデルルームいよOPEN

外観完成予想図

平面自走式駐車場
月額
3,000円～

4LDK～2LDK+N(戸)107㎡超～78㎡超
自由設計対応可

安心の長期保証
最長15年

金利優遇期間20年
フラット35S
※詳しくは係員までお問い合わせください。

長期優良住宅ならではの
特別減税制度
※詳しくはWebをご覧ください。

都心隣接でありながら豊かな自然。四季が薫る広大な片山公園に近接。教育施設や医療・買物など生活利便施設も充実しています。



■物件概要 ●名称/ブランシエラ吹田片山公園 ●所在地(地番) ●大阪府吹田市出口町111番地 ●交通/阪急千里線「豊津」駅徒歩8分、JR東海道本線「吹田」駅徒歩13分 ●総戸数/114戸 ●敷地面積/5,719.03㎡ ●建築面積/3,235.64㎡ ●延床面積/14,588.06㎡ ●用途地域/第1種中高層住居専用地域・第2種高度地区 ●建ぺい率/60% ●容積率/200% ●構造・規模/[住居棟]鉄筋コンクリート造、地上10階建、[共用棟]鉄筋コンクリート造、地上2階地下1階建 ●分譲後の権利形態/敷地は共有、建物は区分所有 ●管理形態/区分所有者全員により管理組合を結成し、管理会社に委託していただきます。 ●管理会社/株式会社長谷工コーポレーション ●建築確認番号/BCJ08大建確051(平成21年2月23日)、BCJ08大建確051変1(平成21年12月7日) ●駐車場/116台(敷地内賃貸/月額使用料:3,000円～12,000円)(※来客用2台含む) ●自転車置場/228台(賃貸/月額使用料:200円) ●バイク置場/7台(賃貸/月額使用料:2,000円) ●ミニバイク置場/14台(賃貸/月額使用料:1,000円) ●建物竣工予定/平成23年7月中旬 ●入居予定時期/平成23年7月末 ●事業主(売主)/株式会社長谷工コーポレーション 国土交通大臣(14)第68号、国土交通大臣許可(特-22)第3792号、(社)不動産協会会員、(社)近畿圏不動産公正取引協議会加盟(〒541-0046 大阪府中央区平野町1丁目5番7号 TEL:06-6203-5661) ●販売提携[代理]/株式会社長谷工コーポレーション 国土交通大臣免許(8)第3175号、(社)不動産協会会員、(社)近畿圏不動産公正取引協議会加盟(〒541-0046 大阪府中央区平野町1丁目5番7号 TEL:06-6203-3650) ●設計・監理/株式会社長谷工コーポレーション ●施工/株式会社長谷工コーポレーション・株式会社 森組 ●広告有効期限/平成23年4月末日 ●先着順販売概要 ●販売戸数/9戸 ●間取り/2LDK+N～4LDK ●専有面積(トランクルーム面積含む)77.77㎡～107.19㎡ ●バルコニー面積/13.20㎡～36.94㎡ ●オープンエアバルコニー面積/69.99㎡ ●オーナーズポーチ面積/3.48㎡～9.10㎡ ●トランクルーム面積/0.42㎡～0.81㎡(専有面積に含む、使用料無料) ●販売価格(税込)/3,980万円～6,880万円 ●管理費/月額9,640円～12,930円(「あるフォーラム」会費1戸当たり月額500円含む) ●修繕積立金/月額7,480円～10,180円 ●修繕積立一時金/394,000円～536,000円(一括払い) ●管理準備金/20,000円(一括払い) ●オープンエアバルコニー使用料/月額2,100円(「先着順販売概要」申込受付のご案内) ●申込受付場所/インフォメーションサロンにて ●申込受付時間/午前10時～午後6時(毎週火曜・水曜定休) ●申込時に必要なもの/印鑑(認印)・平成20～21年の収入証明書2年分(源泉徴収票または確定申告書の写し等)・本人確認書類(運転免許証、健康保険証等)車検証の写し(敷地内駐車場をご希望の方のみ)が必要となります。なお、先着順販売につき、ご希望の住戸が商談中、契約済の場合がございます。あらかじめご了承ください。 ●完成予想図(パース・CG)は行政官庁の指導、施工上の都合および改良のため設計・仕様にて一部変更が生じる場合がございます。 ※掲載の種別・形状は実際とは異なる場合がございます。また樹木等は、ある程度成長した後にイメージしたものです。 ※構造図・概念図・説明図は、参考のためのイメージです。 ※掲載の各環境写真は平成21年7月・10月に撮影したものです。情報については平成23年3月2日現在のものです。 ※1/分譲マンションに限ります。 ※2/「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が平成20年12月5日に公布(平成21年6月4日施行)されたことに伴い、事業名が「超長期住宅先導的モデル事業」・「長期優良住宅先導的モデル事業」から「長期優良住宅先導事業」に名称変更となりました。[現地公開:長期優良住宅先導事業について、内容の公開をしております]

關大 第五六二号 平成二十三年三月十五日発行(奇数月十五日発行) 昭和三十年八月六日第三種郵便物認可 発行人 校友会長 寺内俊太郎 発行所 関西大学校友会 〒五六四・八六八〇 吹田市山手町三丁目三番三十五号 電話〇六(六三六八)二二二(代) 振替口座 〇〇九三〇二二五五五九四 定価 〇〇円 (送料別)



結婚



「結婚」を応援します。
(株)ブライダルは
関西大学校友の皆様

33年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、この度賛同を得て「関大コース」を設立致しました。この「関大」を見たとおっしゃってくだされば、校友の皆様、大学教職員の方々はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(会員サポート費50%OFF)にてお世話させていただきます。

関大コース

会員サポート費 **50%** OFF

ブライダルコース ¥220,500 ▶ ¥189,000 etc.

エクセレントコース ¥378,000 ▶ ¥330,750 etc.

●ミドル・シニアの方々のプランにも特典がございます。

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。



株式会社 **ブライダル**

Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
大阪支社 〒530-0001 大阪府北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビル10F



お問い合わせ
(月曜定休)

0120-415-412

ホームページ
携帯サイト

<http://www.bridal-vip.co.jp>
<http://www.bridal-vip.net/m/>

上のQRコードにて携帯サイトに簡単にアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)